

PREMIUM COMPACT AUDIO GUIDE

2018 AUTUMN/WINTER

コンパクトオーディオの
選び方、トレンドがわかる

[プレミアムコンパクトオーディオガイド]

vol.15

特別編集フリーマガジン

¥0 TAKE FREE!

特集

スマートスピーカーの選び方
コンパクトオーディオのある暮らし
定額音楽配信ガイド
ハイコンポ最前線



レコードのはじめ方がわかる
Book in Book
アナログ
レコード
スタイル

利便性、音質が
向上している

コンパクトオーディオの お買い物ガイド

 Bluetooth®

>>> Google Homeだけではない スマートスピーカーの

OK, Google.
明日の天気を
教えて

OK, Google.
気分の上がる
音楽をかけて



リスニング用途なら、音質で選ぼう

「スマートスピーカー」をご存知だろうか。日本では登場してまだ1年程度だが、本場アメリカでは登場して数年経ち、多くの人が1度は使ったことがある、というくらいに浸透している。スピーカーはクラウド上にあるAI(人工知能)とインターネットを介して接続し、私たちの暮らしに役立つニュースや天気の見上げ、ちょっとした調べ物などを、会話しながら情報再生するのが特長だ。しかし、こうした「AIアシスタント」によって得られる利便性は、すべてのスマートスピーカーで共通なため、スマートスピーカーを選ぶ基準は少々わかりにくい。

そこで本誌がお薦めしたいのは「音の質」にこだわるモデルだ。なぜならスマートスピーカーで最も使われている機能は「音楽再生」だからだ。低音が正しく再生できなければ、ビートを感じられず音楽が持っているワクワクが正しく伝わらない。たとえBGMとして利用するとしても音質は、選ぶ重要な基準である。ところがGoogleなどの純正品は普及価格帯に抑えていることもあり、機能は最低限、スピーカーもモノラル再生を採用している。広がる音響設計こそ秀逸ではあるが、再生レンジはお世辞にも広いとはいえない。だが近年は、スピーカーブランドから独自の音響技術を搭載したモデルが多数登場し、音質面の不満は解消されている。さらに防滴機能やバッテリーの搭載など、使うシーンを広げる提案性があり、いまスマートスピーカーは選べるほどに増えている。価格はやや高価になるが、長い目で見てお得といえる完成度を持っているのだ。

そもそも「スマートスピーカー」とは？



インターネットと接続したスピーカーが、クラウド上にあるAIにアクセスすることで、私たちの言葉を認識。これまで私たちがスマホ画面を見て操作していたことを代わりに行ってくれるちょっと便利なスピーカー。AIの機能は購入するスピーカーに依存しないので、アップデートにより今後ますます利便性が向上するのも特長だ。

選び方

声で様々な操作ができる「スマートスピーカー」を一度は耳にしたことがありませんか？
天気やニュースの読み上げ、料理のレシピを教えてくれるなど、ちょっと便利なスピーカーです。
価格も1万円を切る価格のモデルも登場し、何を基準に選べばよいかわかりにくくなっています。
今号では、スマートスピーカーの情報を整理するとともに、選ぶ基準を解説します。

文／編集部

CHECK 1

スマートスピーカーができることを確認



BGMをつくれる

4000万曲以上という音楽が聴き放題になる「定額音楽配信サービス」と連携。聴きたいアーティスト名や気分や季節に関連したことを伝えれば、最適なプレイリストが再生される。BGMに最適な機能だ。



まるで秘書のよう!

料理中など、手が離せない時にレシピを聞くなど、手を動かさず画面も見ずに情報を教えてくれる便利機能もある。小さなお子様の学習にも使える基礎知識解説など、1台あると意外と遊べる。



家電を操作できる

スマートスピーカーとWi-Fiで接続した照明のON/OFF操作といったように家電の操作も音声で行える。ただ動くのは対応製品に限られ、その数もまだまだ少ないのが実情。今後の展開にも注目したい。

CHECK 2

AIアシスタントと音楽配信の対応をチェック

主な音楽配信サービス	Google アシスタント	Amazon Alexa	LINE Clova
Spotify	○	—	—
Google Play Music	○	—	—
Amazon Music Unlimited	—	○	—
Prime Music	—	○	—
LINE MUSIC	—	—	○
AWA	—	○	—
dヒッツ	—	○	—
うたパス	○	○	—
Apple Music	—	—	—
Deezer HiFi	—	—	—
KKBOX	—	—	—
レコチョクBest	—	—	—

スマートスピーカーとして発売されている代表的なAIアシスタントは「Googleアシスタント」と「Amazon Alexa」、それに「LINE Clova」だ。Appleの「Siri」、Windowsの「Cortana」などはスマホやPCでは利用可能だが、ここではスマートスピーカー対応のAIアシスタントに絞ってご紹介した。ちなみに複数のサービスに対応する場合、「音楽をかけて」といった、広い意味でとれる言葉を使用した際は、GoogleやAlexaともに純正のサービスが優先される。こうした契約する定額音楽配信から、自分に最適なスマートスピーカーを見つける方法もある。

CHECK 3

音楽リスニング用なら絶対音質を重視しよう

スマートスピーカーが登場したばかりの時は、AIアシスタントを提供する会社の純正商品しか選択肢がなかった。しかし、これらのアイテムは「音声操作を普及させる」という側面もありコスト面を重視したのも事実だ。これからスマートスピーカーを購入、しかも音楽再生をメインにお考えなら音質にこだわるモデルを選んでほしい。最新モデルのなかには、2WAY方式など音響技術にこだわったモデルも登場し、さらにモノラル再生ではなくステレオ再生を採用するモデルも誕生している。スピーカーブランドの音にこだわったスマートスピーカーにも注目してほしい。



JBLのスマートスピーカー「JBL LINK 500」は、高域用のトゥイーター、中低域用のウーファーを左右2ペア搭載する2WAY4スピーカー構成のステレオ再生を実現した。

スマートスピーカーの代表的モデル「Google Home」は360度に音を広げるために、モノラル再生を採用している。



スピーカーガイド

文／オーディオビジュアル評論家
折原一也



カラビナ付きで
持ち運びやすい!

ポータブル
Bluetoothスピーカー

JBL CLIP 3

¥OPEN 直販サイト価格 ¥5,880 (税抜)

▶投票 No.006

SPEC ●再生周波数特性:120~20,000Hz
●連続再生時間:約10時間 ●外形寸法:97W
×137H×46Dmm ●質量:220g

Bluetooth | バッテリー | 防水(IPX7)

COLOR ○ ● ● ● ● ● ● ●



モバイルバッテリー
としても使える!

ポータブル
Bluetoothスピーカー

JBL CHARGE3

¥OPEN 直販サイト価格 ¥14,880 (税抜) ※キャンペーン価格 ▶投票 No.007

SPEC ●再生周波数特性:65~20,000Hz ●連続再生時間:約20時間
●外形寸法:213W×88.5H×87Dmm ●質量:800g

Bluetooth | バッテリー | 防水(IPX7) | スマホ給電 | JBL コネ外プラス

COLOR ○ ● ● ● ● ● ● ●



ライティングで
空間を彩る!

ポータブルBluetoothスピーカー

JBL PULSE3

¥OPEN 直販サイト価格 ¥19,880 (税抜)

※キャンペーン価格 ▶投票 No.008

SPEC ●再生周波数特性:65~20,000Hz ●連続再生時間:約12
時間 ●外形寸法:92W×223H×92Dmm ●質量:960g

Bluetooth | バッテリー | 防水(IPX7) | イルミネーション | JBL コネ外プラス

COLOR ○ ● ● ● ● ● ● ●

マルチカラーLEDを搭載

本体上部の亚克力ボディにマルチカラーLEDを搭載。音楽に合わせた7種類のイルミネーション効果で、お部屋をクラブのように演出したり、音楽への没入感をアップしたり、楽しく使いこなせる。音質面も妥協なくスピーカー3基を配置。パワフルなサウンドと360度の音の広がり、クラブ系からJ-POPまでオールマイティに対応。IPX7の防水仕様で浴室やプールサイドもOK。プラスワンの付加価値がある、遊べるスピーカーだ。

アウトドアに最適
快活サウンド!



ポータブルBluetoothスピーカー

JBL XTREME2

2018年10月26日発売

¥OPEN 直販サイト価格 ¥29,880 (税抜) ▶投票 No.009

SPEC ●再生周波数特性:55~20,000Hz ●連続再生時間:約
15時間 ●外形寸法:288W×136H×132Dmm ●質量:2393g

Bluetooth | バッテリー | 防水(IPX7) | スマホ給電 | JBL コネ外プラス

COLOR ○ ● ● ● ● ● ● ●

栓抜きまで付いている?!

アウトドアでも使える機能とパワー、クラス最高峰の高音質を備えた最新モデルだ。バズーカのような巨軀にIPX7対応の防水仕様、最大15時間再生のロングバッテリー、そして肩掛けできるストラップまで付属。ベルト調整部には野外で役立つボトルオープナーまで備えている。ディープ、そしてリッチに響き渡る圧倒的な重低音だけでなく、2ウェイスピーカーのお陰で中高域の情報量までも豊富な実力派。仲間と集まるホームパーティーでも活躍必至!



ウェアラブルBluetoothスピーカー

SOUNDGEAR

NEW!

¥OPEN 直販サイト価格 ¥19,880 (税抜) ▶投票 No.010

SPEC ●再生周波数特性:100~20,000Hz
●連続再生時間:約6時間 ●質量:約370g

COLOR ●●

Bluetooth | バッテリー | ウェアラブル

首にかけて装着できる

Bluetoothスピーカーの新たな可能性を示したネックバンドスタイル。首周りに装着する仕組みで、DSPによって耳のまわりに音場を作り出すことで、包み込まれるようなライブ感豊かなオーディオ体験が楽しめる。深夜のリスニングや、掃除機をかけながらなど、大音量を出せない環境で活躍してくれる。「SOUNDGEAR BTA」モデルなら、TVと接続するトランスミッターを同梱、テレビの音声を耳元で楽しめる。

スマホやテレビにもっと臨場感を!

クルマに置いたらコレで決まり!



オンダッシュBluetoothスピーカー

JBL SMARTBASE

NEW!

¥OPEN ▶投票 No.011

SMARTBASE Qi対応:直販サイト価格 ¥19,880 (税抜)
SMARTBASE:直販サイト価格 ¥14,880 (税抜)

SPEC ●再生周波数特性:100~18,000Hz ●外形寸法:144W×67H×131Dmm ●質量:約580g

Bluetooth | シガーソケット | スマホ給電 | COLOR ●

持ち込める、自分流のカーオーディオ

自動車のダッシュボードに装着してスマホを固定できる機構を持つ個性派。27mmフルレンジスピーカー2基を搭載するサウンドベースを搭載。パワフルな低音と、歌声もクリアに通る、驚きの高音質を誇る。スマホのナビ音声も聞き取りやすく、しかもハンズフリー通話もできるスグレモノだ。Qi規格ワイヤレス充電対応モデルなら、ケーブルレスで充電できる。レンタカーやカーシェアの車、営業車などを自分流の高音質にパワーアップしたい人に最適だ。

NEW!



ラジオ付きBluetoothスピーカー

JBL TUNER FM

¥OPEN 直販サイト価格 ¥9,880 (税抜) ▶投票 No.012

SPEC ●再生周波数特性:85~20,000Hz ●連続再生時間:約8時間 ●外形寸法:165W×66H×66Dmm ●質量:450g

Bluetooth | バッテリー | ラジオ(ワイドFM)

ラジオ付きだから電源オンですぐ音楽!

スマホなしでも手軽に音楽

いつでも最新の音楽と話題に触れられるFMラジオ機能を搭載。ワイドFM対応でFM放送だけでなく一部のAM放送も高音質で受信できる。フルレンジスピーカーとパッシブブラジエーターを贅沢に組み合わせた設計でパンチを効かせた低音と声のクリアさで予想以上に高音質。電源を入れるとすぐにラジオを聴ける手軽さと共に、本体部に5つのプリセットボタンと液晶ディスプレイを搭載して選局もしやすい。ラジオ好きはもちろん、防災アイテムとしてもお薦め。



PREMIUM COMPACT AUDIO GUIDE

プレミアム
コンパクトオーディオ
ガイド

vol.15

コンパクトオーディオで新しい音楽体験を!

新しいコンパクトオーディオの登場で、音楽の聴き方が大きく変わってきている。
 スマホを使ったBluetooth再生やPCを使うハイレゾ再生。
 さらにスマートスピーカーの誕生で、音楽と私たちの距離はぐっと近くなっている。
 音楽のはじまりは、聴きたい曲を声に出すだけだ。
 あとはスマートスピーカーが考え、音楽を再生してくれる。
 いい音の音楽は私たちの暮らしの空気感も変える大きな力を持っている。
 さあ、あなたも本誌と一緒に新しい音楽体験の扉を開いてみよう!



CONTENTS

NEW WAVE①

- 2 Google Homeだけではない
スマートスピーカーの選び方

LIFESTYLE

- 11 シーン別でわかる
コンパクトオーディオのある暮らし

写真/広井一成 撮影協力/リグナテラス東京

FASHION

- 17 インスタ映え
“#おしゃれスピーカー”

NEW WAVE②

- 28 いま加入すべき
定額音楽配信サービス

HI-COMPO

- 35 ハイコンポ最前線

BOOK IN BOOK

「Analog Record Style Vol.5」



締め切りは
2019年
2月25日
まで!



▼ケータイアンケートで豪華景品を当てよう!

今号も本誌をお手にとりいただき、誠にありがとうございます。皆様のおかげで本誌は15号の節目を迎えることができました。その感謝の気持ちを込めて、読者人気の高いBluetoothスピーカーMarshall「Kilburn」をはじめ、豪華景品を用意しました。右のQRコードよりアクセスいただき、アンケートにご回答ください。ドジドンご応募ください。



最新コンパクトオーディオ情報が満載!
オーディオ・ビジュアルのポータルサイト
「ファイル・ウェブ」毎日更新中!

<http://www.phileweb.com/>

企画・編集/株式会社 音元出版 SP DIVISION ☎03-3255-4471
〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-9 第七東ビル8F
デザイン/PUMP WORK SHOP、STAND、ワールドインスティテューター
製版/コスモグラフィック 表紙撮影/広井一成 印刷/大日本印刷

掲載商品には一部、配布店舗で取り扱いのない商品がございます。

防水防塵でタフ、使いこなしも自由自在

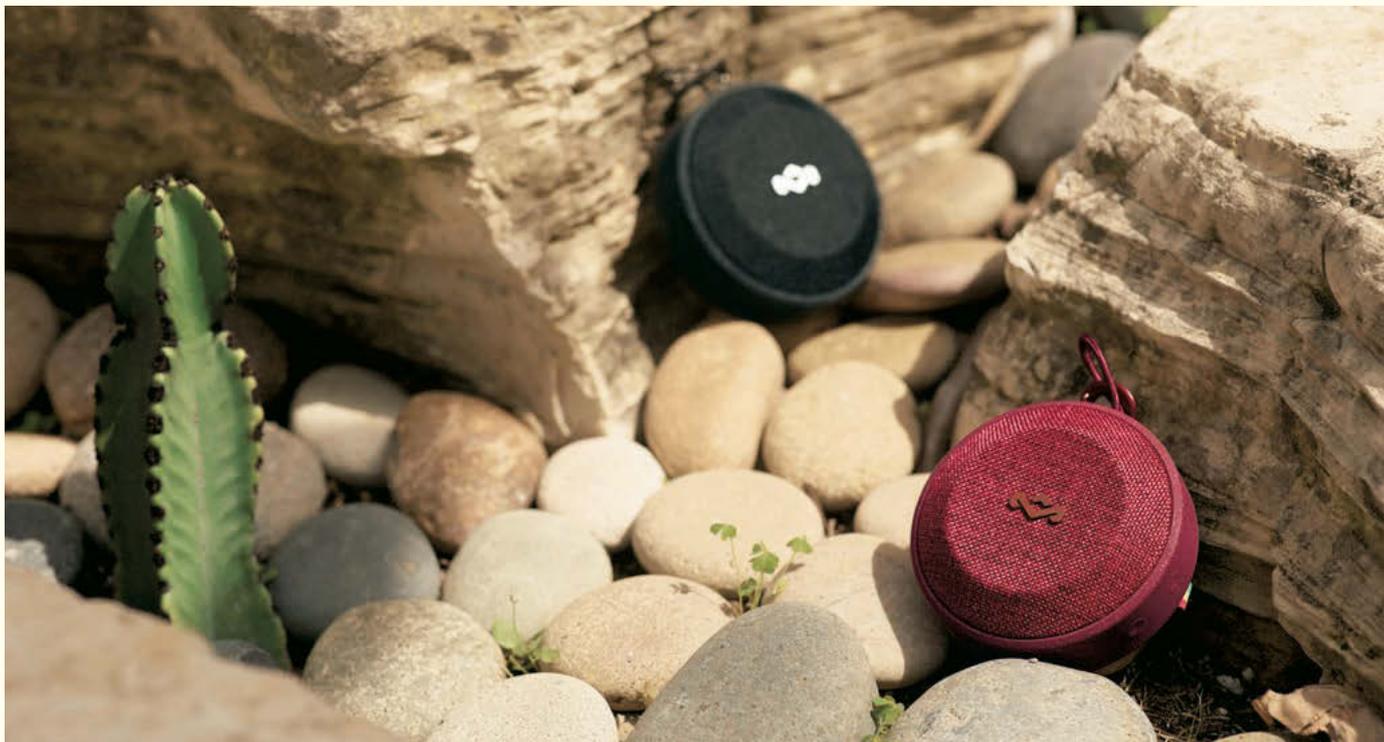
音楽、そして自然や生命へのリスペクトを捧げたボブ・マーリーの思想を受け継ぐブランドとして存在感を放つハウス・オブ・マーリー。オーディオブランドは数あれど、これほど明確な思想を掲げるメーカーは他にないだろう。そんな同社から新たに登場するBluetoothスピーカーが「NO BOUNDS」シリーズだ。ラインアップは「NO BOUNDS」「NO BOUNDS SPORT」「NO BOUNDS XL」の3モデルで、いずれも防水防塵のタフ設計でバッテリー内蔵。そしてカラーも多彩。現代に求められる機能性、ファッション性を備え、

より自由な音楽の楽しみ方を提案してくれる注目アイテムだ。

ハウス・オブ・マーリーのプロダクトを語るうえで、オーディオ機器の素材としては他社にはないエコロジカルな基準で選ばれたマテリアルから語るべきだろう。NO BOUNDSシリーズに共通して採用されている素材は、軽量で耐久性、抗菌性に優れたコルク。コルク樹皮は木を伐採せずとも約9年周期で再生し採取できる素材だ。そのほかハウス・オブ・マーリーオリジナルのREWINDファブリック、無毒性REGRINDシリコン、REGRINDコルク、リサイクル可能なアルミニウムといった素材もまた、地球環境に優しい「アースフレンドリー」という基準で選ばれている。

スタイル

いちばん自由で主張のある ワイヤレススピーカー



Bluetoothスピーカー

HOUSE OF MARLEY NO BOUNDS

¥OPEN 直販サイト価格 ¥8,770 (税込) ▶投票 No.013 Bluetooth

IP67相当の防水・防塵設計でカラビナを付属したアウトドアスタイル。水に浮く! ファブリックとコルクを組み合わせたデザインもオシャレで個性的。2つあれば、ステレオ再生も可能だ。



SPEC ●通信方式:Bluetooth標準規格Ver.4.2 ●対応コーデック:SBC ●最大出力:3W
●連続再生時間:約10時間 ●外形寸法:108W×108H×50Dmm ●質量:約280g

「NO BOUNDS」は、IP67の防水防塵設計を誇る小型のワイヤレススピーカー。カラビナが付属していて、バッグやロープなどに吊り下げられるアウトドア仕様。自然と共に過ごすハウス・オブ・マーリーの思想に通じる。小型でもエネルギー感溢れるサウンドはボーカルの歌声もクリア。低音のパワーも見た目以上だ。上向きに置いて音の広がりも確保する、マルチユースに使い倒せるポータビリティもポイントだ。

「NO BOUNDS SPORT」はボトル型デザインで、トップが回転式のボリュームコントロールとなっていて、操作方法までお洒落。ボーカルをクリアに出すサウンドチューニングで、低音再現もエ

ネルギッシュ。IP67相当の防水防塵設計によるタフネスさも共通。「NO BOUNDS XL」は、シリーズで最も大型。横向きだけでなく縦置きもOK。マルチに使いこなせる。パンチの効いたサウンドを自由自在に持ち歩けるスピーカーとして存在感抜群だ。IP67相当の防水防塵というアウトドア志向の設計もうれしい。

アウトドア派だけでなく、お部屋のインテリアとしてもマッチするデザイン。豊富なカラーとエコロジカルな素材で構成された、自在な使い勝手を備える「NO BOUNDS」シリーズ。音楽ファンならずとも、世界を席卷する気鋭のブランド「ハウス・オブ・マーリー」に、ぜひ一度触れてみるべきだ。

ボブ・マーリーの意志を継いで、地球に優しく、音楽への愛に溢れたオーディオ製品をリリースする「HOUSE OF MARLEY」から、防水防塵でタフに使えるワイヤレススピーカーが登場した。ファッションやインテリアに合わせて選べるラインアップと究極のポータビリティ。世界を席卷する、そのポテンシャルは、とどまることを知らない。



文／
オーディオビジュアル評論家
折原一也

“NO BOUNDS”

Bluetoothスピーカー

HOUSE OF MARLEY NO BOUNDS SPORT

¥OPEN 直販サイト価格 ¥13,500 (税込) ▶投票 No.014 Bluetooth

円筒型のデザインで360度サウンドを実現! IP67相当の防水・防塵設計や水に浮かぶほか、カラビナも付属。AUX端子も搭載しており、家のなかはもちろん、キャンプなどに持ち運ぶのにも最適。



SPEC ●通信方式:Bluetooth標準規格Ver.4.2 ●対応コーデック:SBC ●最大出力:10W
●連続再生時間:約12時間 ●外形寸法:76W×165H×76Dmm ●質量:約500g

地球に優しい プロダクト

ブランドアンバサダーを務めるローハン・マーリー氏。ボブ・マーリー氏の実の息子でもあり、普遍的な愛と自然へのリスペクトといった思想を受け継ぎ、製品づくりの根底に据えている。製品からパッケージまで、アースフレンドリーなマテリアルで構成されていることも特長だ。



<http://www.facebook.com/houseofmarleyjapan/>

<http://twitter.com/houseofmarleyjp/>

<http://www.instagram.com/houseofmarleyjapan/>

Bluetoothスピーカー

HOUSE OF MARLEY NO BOUNDS XL

¥OPEN 直販サイト価格 ¥18,900 (税込)

▶投票 No.015 Bluetooth



63mmウーファーと19mmツイーターをそれぞれ2基ずつ搭載、本格的なステレオ再生ができるポータブルスピーカー。もちろん防水・防塵設計!

SPEC ●通信方式:Bluetooth標準規格Ver.4.2 ●対応コーデック:SBC ●最大出力:10W+10W
●連続再生時間:約16時間 ●外形寸法:254W×89H×102Dmm ●質量:約1,700g



TOSHIBA

あのことろ好きだった音楽が、
いま、ハイレゾ音質で。



世界で初めて*ハイレゾ機能を搭載したラジカセ、誕生。



Aurex

東芝エリートレーディング株式会社
<http://aurex.jp/>

当社はハイレゾ普及に向け、ハイレゾモデルには、日本オーディオ協会が推奨するこのロゴを冠し推進しています。
*日本オーディオ協会の「ハイレゾ」ロゴを付与したオーディオ機器で、カセットプレーヤーを搭載したもの(2018年3月23日発売、当社調べ)。



表示を正しく
家電公取協



LIVING

リビング



DINING
KITCHEN

ダイニング
キッチン



BED
ROOM

寝室



DEN

書斎

音楽が一日を豊かに彩る

コンパクトオーディオのある暮らしへようこそ

リビングで家族団らんに、ダイニングで食事中に、書斎で仕事に——。日常のシチュエーションに合わせて、さまざまな楽しみ方ができるのがコンパクトオーディオの魅力。とはいえ、カタチも機能も売り場もバラバラで、何を選んだらよいのかわからない方も多いのでは？そこで、暮らしのシーン別にオススメのコンパクトオーディオを編集部が厳選。住まいに音楽をプラスして、心地のよい家時間を過ごしてみませんか？

RIGNA TERRACE TOKYOで秋支度を

この特集にご協力いただいたのは「RIGNA TERRACE TOKYO」。1,000㎡の広々とした店内には、ウォールナットやナチュラル、カフェ・ヴィンテージ、デザイナーズなど、さまざまなスタイルの家具が並びます。オリジナルブランドの家具も展開。現在、福岡の人気家具メーカー「HIRASHIMA（ヒラシマ）」のキャンペーンを実施中（2018年10月21日まで）。



撮影したのは
このショールーム >>>

RIGNA TERRACE TOKYO- リグナテラス東京
〒104-0033 東京都中央区新川1-9-3
☎ 03-6222-0761 <https://www.rigna.jp>

LIVING

リビング



INTERIOR LIST ●ソファ:ピ
アーナカウチソファ ¥174,000
(税抜) ●オットマン:ピアーナ
オットマン ¥74,000 (税抜) ●
サイドテーブル:カラーウッド プ
レーン テーブル[スモール]
¥51,000(税抜) 以上、すべて
リグナテラス東京

ANOTHER CHOICE

機能美溢れるマルチモデル

Wi-Fiスピーカー

**Bang & Olufsen
BeoPlay M3**



¥33,241 (税抜)

▶投票 No.017

Bluetooth CERTIFIED Wi-Fi CERTIFIED

美しいデザイン、洗練された使い勝手を備えたワイヤレススピーカー。着せ替えるファブリックはKvadrat社とのコラボによるもので、インテリアにすっと馴染む。Bluetooth、Wi-Fi、Chromecast built-inに対応。

☎ 完美電気 ☎050-3388-6838

ポーズ初のAIスピーカー

スマートスピーカー

**Bose
HOME
SPEAKER
500**



¥47,000 (税抜)

▶投票 No.018

Bluetooth CERTIFIED Wi-Fi CERTIFIED

「Amazon Alexa」に対応したスマートスピーカー。再生中の曲などを表示できるLCDディスプレイも搭載しており、インテリアに美しく映える。室内の壁の反射を利用した広がりのあるサウンド設計も、ポーズらしく抜かりなし!

☎ ポーズ ☎0120-002-009

先進ネットワーク機能満載

CDレシーバー+
スピーカー

**Denon
RCD-N10
+SC-N10**



RCD-N10
¥57,800 (税抜)

SC-N10
¥17,800 (税抜)

▶投票 No.019

Hi Res Audio Bluetooth CERTIFIED Wi-Fi CERTIFIED

ミニマルデザインと先進機能が融合。ネットワーク機能を備えており、スマホやPCに保存した楽曲をWi-Fi経由で高品位に再生することができる。テレビのリモコンとも連携できるなど、団らんの時間をもっと優雅に!

☎ ディーアンドエムホールディングス ☎0570-666-112



SCENE1 : リビング

才色兼備のオーディオで 家族みんなが自然と集まる

家族との団らんを楽しんだり、ゲストをもてなしたりなど、リビングは住まいの顔ともいえる空間。そのため、インテリアとマッチするような美しいデザインのオーディオを選びたいものです。また、CD、スマホ、ハイレゾ音源など、家族それぞれが楽しんでいる音楽メディアを手軽に楽しめたら、家族が自然とリビングに集いやすくなるはず。空間を満たす広がりのあるサウンドにも注目してみましょう。

こんな
オーディオが
オススメ

- ✓ 空間にマッチする美しいデザイン
- ✓ 多様な音楽メディアを再生できる
- ✓ リビングを満たす広がりのある音

コンパクトステレオ

PANASONIC SC-HC2000

¥OPEN ▶投票 No.016 Bluetooth CERTIFIED WiFi



見た目はオシャレ! 中身は超ハイテク

場所を選ばず置けるスリムなデザインだが機能は大充実!「Chromecast built-in」対応により、Google Play Music、Spotifyなどの音楽ストリーミングアプリのデータを伝送し、高音質で再生することが可能。Bluetoothでのワイヤレス再生のほか、CDやFM/AMラジオなど再生できる音楽メディアも多様。また、Googleアシスタント搭載機器から音声によるワイヤレス再生操作も可能。実売想定価格¥35,000前後。

☎ パナソニック ☎0120-878-982



音楽配信サービスを 高音質のままキャスト

スマートフォン向けの音楽コンテンツをワイヤレスで伝送できる「Chromecast built-in」に対応。音楽データを圧縮するBluetoothと異なり、無線LAN接続なので、SpotifyやGoogle Play Musicをはじめとする豊富な音楽ストリーミングアプリを高音質のまま再生することができる。

ウッドの温かみのある響き

コンパクトステレオ

JVC NX-W30



¥OPEN

▶投票 No.020

Bluetooth

BluetoothやCD、FMラジオなどの再生に対応する一体型オーディオ。温かみのある木の筐体は、まるで家具のような佇まい。ウッドキャビネットならではのオーガニックな響きを、ゆったりと味わいたい。実売想定価格は¥21,470前後。

☎ JVCケンウッド ☎0120-2727-87

あらゆる音楽を高音質に

Wi-Fiスピーカー

Sony h.ear go 2 SRS-HG10



¥OPEN

▶投票 No.021

Hi-Res Audio Bluetooth CERTIFIED WiFi

持ち運び自由なスタイリッシュなボディに、ハイレゾ音源を楽しむための高音質技術を凝縮。Bluetoothに加え、Wi-Fiにも対応。「DSEE HX」搭載で音楽配信サービスもハイレゾ相当の高音質で楽しめる。実売想定価格は¥25,000前後。

☎ ソニー ☎0120-777-886

まるでおしゃれ雑貨!?

Wi-Fiスピーカー

Tivoli Audio MODEL ONE DIGITAL



¥46,000(税抜)

▶投票 No.022

Bluetooth CERTIFIED WiFi

雑貨感覚でリビングに置きたい、おしゃれなWi-Fiスピーカー。スピーカーグリルには「Gabriel」製ファブリックを採用するなど、インテリアとの親和性は抜群。リング状のコントローラーとノブで直感的な操作ができるのもユニーク。

☎ ネイブーズ ☎03-6434-1541

DINING KITCHEN

ダイニングキッチン



INTERIOR LIST ●ダイニングテーブル:ヒラシマ CAMELLA dining table ¥200,000 (税抜) ●チェア:ヒラシマ CAMELLA side chair ¥63,000(税抜) ●アームチェア:ヒラシマ CAMELLA arm chair ¥70,000 (税抜) ●ベンチ:ヒラシマ CAMELLA Bench C [ウォールナット] ¥95,000(税抜) ●ワインラック:Animals Bone ワインラック [ゾウ] ¥2,800(税抜) ●グリーン:PIANTAX STANZAトーチ [M] ¥14,500(税抜) 以上、すべてリグナテラス東京

SCENE2: ダイニング

機動的で使い勝手抜群！ 食卓もワイワイにぎやか

ダイニングキッチンは、食事をしながら家族団らんを楽しむ空間。そんな場所には、バッテリー駆動ができて、キッチンやリビングなどへ気軽に持ち運べるコンパクトなスピーカーがオススメ。また、奥様が家事中に手軽に使えるような快適な操作感にもこだわりたいところ。防滴仕様なら水がかかる場所でも使えてなおバテバテです。



Bluetoothスピーカー

Bang & Olufsen BeoPlay P6

¥46,287 (税抜) ▶投票 No.023

Bluetooth



本体には本革のストラップがあり、家のなかを簡単に持ち運びが可能。

美しいサウンドを自由に持ち運ぶ!

デンマーク発のブランド、Bang & Olufsenが培った高音質技術をふんだんに詰め込んだBluetoothスピーカー。最大の特長は360度に広がるサウンド。コンパクトボディながら、部屋じゅうを臨場感あふれるサウンドで満たせる。1980年代の名機「Beomaster 6000」にインスパイアを受けた美しいデザインもポイント。

☎ 完実電気 ☎050-3388-6838

こんなオーディオがオススメ

- ✓ 気軽に持ち運べるバッテリー駆動
- ✓ 誰でも使える快適な操作性
- ✓ 防滴仕様なら水回りでも使える

ANOTHER CHOICE

ボーズサウンドに包まれる

Bluetoothスピーカー

Bose SoundLink Revolve Bluetooth speaker

¥25,000 (税抜)

▶投票 No.024



Bluetooth

ボーズサウンドを手軽に持ち運べるBluetoothスピーカー。2基のパッシブブラスピーカー、トランスデューサー、音響ディフレクターを内蔵し、360度どこから聴いても高品位なサウンドを楽しめる。しかもIPX4の防滴仕様。

☎ ボーズ ☎0120-002-009

音声操作で家事がラクに

スマートスピーカー

JBL JBL LINK 10

¥OPEN

▶投票 No.025



Bluetooth

WiFi CERTIFIED

Googleアシスタント搭載スマートスピーカー。IPX7の防水仕様だから、手を触れずに音声で好みの曲やレシピの確認ができるので、奥様も大助かり。バッテリー内蔵で持ち運びも簡単。実売想定価格は¥10,880前後。

☎ ハーマンインターナショナル ☎0570-550-465

水をこぼしても安心

Bluetoothスピーカー

HOUSE OF MARLEY NO BOUNDS

¥OPEN

▶投票 No.026



Bluetooth

ボブ・マーリーの息子が手がける、エコフレンドリーなブランドの最新モデル。コルクをベースにつくられた本体はナチュラルな雰囲気満点。IP67の防水防塵仕様だから、お風呂にも浮かべられる。実売想定価格は¥8,120前後。

☎ 完実電気 ☎050-3388-6838

BED ROOM

寝室

INTERIOR LIST ●ベッドフレーム:REMBASSY THE WOOD bed frame ¥260,000(税抜)
●ナイトテーブル:REMBASSY THE WOOD night table ¥87,000(税抜)以上、すべてリグナテラス東京

SCENE3: 寝室

眠りの質を上げて 気持ちよく目覚めよう

夜はお気に入りの音楽で一日の疲れを癒し、朝は心地よく目覚める。そんな眠りの質を高めてくれるようなオーディオを集めました。見やすい時計表示にアラームクロック、間接照明にもなるLEDライト搭載など、ベッドサイドにあると便利な機能をチェックしましょう。なかには、快眠セラピストが監修したこだわりアイテムもあります。



スマートスピーカー

Harman Kardon Allure Portable

¥OPEN ▶投票 No.027



「Alexa」と話しかけると、中央部のLEDライトがさまざまなパターンで点灯する。

慌ただしい朝をサポート

いま話題のスマートスピーカーは寝室にあると便利。スピーカーに話しかけるだけで、音楽再生はもちろん、天気予報などを読み上げてくれ、慌ただしい朝にゆとりが生まれる。この「Allure Portable」は「Amazon Alexa」を搭載し、Alexaのスキルに対応する照明、カーテンの操作まで可能。実売想定価格は¥19,880前後。

☎ ハーマンインターナショナル ☎0570-550-465

こんなオーディオがオススメ

- ☑ アラームクロック機能付き
- ☑ 時計の表示が見やすい
- ☑ ランプとしても使える

ANOTHER CHOICE

ドット絵書きで遊べる

Bluetoothスピーカー

Divoom TIVOO



¥OPEN

▶投票 No.028



16×16ドットのLEDモニターにオリジナルのピクセルアートを表示できるBluetoothスピーカー。アラームにSNS着信通知、入眠サウンドを搭載するなど、コンパクトながらも多機能。実売想定価格は¥10,800前後。

☎ WiseTech ☎03-5829-9857

音と光に癒されるひととき

Bluetoothスピーカー

HARIO OTOHIKARI



¥18,000(税抜)

▶投票 No.029



耐熱ガラスメーカー「HARIO」からBluetoothスピーカーが登場。搭載されたLEDライトの光にきらめく繊細なガラス製ツリーは、職人による手作り。ガラスシェードがコーヒードリッパー「V60」を彷彿とさせるのもHARIOならではの。

☎ HARIO ☎0120-398-208

BGMで上質な眠りを

Bluetoothスピーカー

SEIKO SS501



¥OPEN

▶投票 No.030



大画面&ハイコントラスト液晶を使った見やすいデジタルクロックに、Bluetoothスピーカーを一体化。心地よい眠りと目覚めをアシストするオリジナルメモリも内蔵しているのもポイント。実売想定価格は¥26,000前後。

☎ セイコクロック ☎0120-315-474



INTERIOR LIST ●デスク:
kiva desk [walnut] ¥89,200
(税抜) ●チェア:イームズ アル
ミナムグループ マネージメント
チェア ¥255,000(税抜) 以
上、すべてリグナテラス東京

SCENE4: 書齋

自分だけの秘密基地へ 極上の音楽でトリップ

書齋やワークスペースで、自分のためだけに過ごす“ひとり時間”を大切にしたい。そんなあなたには、音楽と向き合えるような、スピーカーとアンプが別体になったセパレートタイプのオーディオがオススメ。もちろん、デスクトップに置けるサイズかどうかも重要です。所有欲をくすぐるようなデザインや仕様を選ぶと、眺めるだけで心が癒されるはずですよ。

こんな
オーディオが
オススメ

- ✓ デスクに置ける省スペース設計
- ✓ セパレートタイプ
- ✓ 所有欲をくすぐる仕様



▲KA-NA9



◀LS-NA9

プリメインアンプ+スピーカー

KENWOOD KA-NA9+LS-NA9

¥OPEN ▶投票 No.031



音楽配信サービスの音楽も、ハイレゾ相当の高解像度サウンドにする独自技術を搭載。

すべての音楽を高音質に

ハイコンボで一世を風靡した「Kseries」の最新モデル「KA-NA9」(実売想定価格¥55,000前後)は、独自の高音質化技術「K2テクノロジー」を搭載し、音楽配信サービスや、スマホと接続したBluetoothでの再生時もハイレゾ相当の高音質を楽しめる。組み合わせるスピーカーに「LS-NA9」(実売想定価格¥40,000前後)を用いる。

☎ JVCケンウッド ☎0120-2727-87

ANOTHER CHOICE

真空管サウンドに浸る愉悅

プリメインアンプ+スピーカー

Carot One ERNESTOLO 50k EX

¥75,000(税抜) ▶投票 No.032 ▲ERNESTOLO 50k EX



ELAC BS302

¥87,000(税抜/ペア) ▶投票 No.033

▶BS302



ガラスブロック越しに見える真空管の光が心を癒すイタリア生まれのプリメインアンプ。曲線をなくした凛とした佇まいは大人の空間に映える。ドイツの名門・エラックのハイパフォーマンススピーカー「BS302」と組み合わせる。

☎ ユキム ☎03-5743-6202

独自の高音質技術を凝縮

ハイコンボ

Denon D-T1

¥35,800(税抜)

▶投票 No.034



デノンがその高音質技術を惜しみなく注ぎ込んで作り上げた正統派ハイコンボ。回路や高音質パーツなど、音にこだわり抜いた設計ながら、お求めやすい価格も魅力。光デジタル端子経由でハイレゾ音源の再生も可能。

☎ ディーアンドエムホールディングス ☎0570-666-112

魔法びんの真空構造を応用

USB-DAC内蔵アクティブスピーカー

VECLOS SSB-380S

¥OPEN

▶投票 No.035



魔法びんで知られる「サーモス」のアクティブスピーカー。真空二重構造を採用し、高い剛性のある「真空エンクロージャー」を搭載。USB-DAC機能やBluetooth再生など機能も充実。実売想定価格は¥150,000前後。

☎ サーモス ☎0570-066966



北欧デンマークのメーカー、
リブラトーン「Zipp」

モダンデザインの傑作、
バング&オルフセン
「Beoplay A1」

世界的なギターブランド、
フェンダー「NEWPORT」

Bluetoothは見た目が命?! "インスタ映え" #おしゃれスピーカー

編集部もはじめました! /

 本誌もさっそくInstagramのアカウントを開設。編集スタッフSが、おしゃれ&意外性のあるBluetoothスピーカーの写真を投稿していきますので、どうぞ楽しみに! #おしゃれスピーカー
 INSTAGRAM: premiumcompactaudioguide

自分らしいスタイルで音楽を楽しめる! デザインや機能がトガったBluetoothスピーカーが続々と登場しています。「見た目」から入るのも、いまならアリかもしれません! 文/編集部

自分らしいスピーカーを選ぼう

世界中のセレブやファッションистタたちが集う、おしゃれSNSの代表格といえばInstagram。実はいま、そこに国内外のBluetoothスピーカーが、たくさん投稿されているのをご存知だろうか?
 「いいね!」を集めるアイテムを選ぶコツは、ズバリ「かっこよさ」と「意外性」を備えているかどうか。アメリカンヴィンテージや北欧テイストなど、インテリアにマッチする、スタイリッシュなBluetoothスピーカーは、実はたくさんある。スピーカー然とした佇まいをしていない、今までの常識にとらわれない、驚くようなフォルムのアイテムだってある。自分らしいオーディオの着こなしが、いまなら自由にできるのだ。水に浮かべられたり、あかりを灯してくれたり、思い切り投げつけても壊れなかったり——ちょっと驚くような機能を持ったアイテムだってある。音楽好きなら「いい音」だけでなく「いいデザイン」も知っておきたい!
 さりげなくクールな音楽を連れてくる、ちょっと素敵なあなたを、スタイリッシュなスピーカーとともに投稿してみてもどうだろうか?



これも
スピーカーです!



リスニングスタイルを革新する ボーズのスマート

音楽を聴くことを提案し続け、いつの時代も革新的な製品でアーティストとリスナーとの距離を縮めてきたボーズ。音声操作という大きな転換期に誕生したスピーカーは、音楽スタイルを一変させるインパクトがある。その理由を明らかにしていこう。

文／オーディオビジュアル評論家 山本 敦 (P18-19)、編集部 (P20-21) 写真／広井一成 撮影協力／大和ハウス工業株式会社 西新井展示場

楽しさを膨らませるイノベーティブな機能と音が小型筐体に結集

ボーズはいつの時代もオーディオの歴史に最先端のテクノロジーによる革新をもたらしてきた。最近ではITの技術と融合したAI内蔵ヘッドホンや、快適な眠りをサポートするノイズマスキングイヤープラグが代表例だ。そのボーズが最新のホーム用ステレオスピーカーのプレミアムモデルとして発売する渾身のモデルが「BOSE HOME SPEAKER 500」だ。

ミステリアスで好奇心を誘うデザインの謎からひもを解いていこう。アルマイト加工を施した上質なアルミニウムボディの、メッシュの向こうには2台のカスタムドライバーユニットが背中合わせに配置されている。部屋の壁に寄せて、あるいはコーナーに置き場所を確保して鳴らせば、1台だけで驚くほどに迫力あふれるステレオ再生が楽しめるワイヤレススピーカーだ。天面は本体の基本操作が行えるタッチコントロールパネルになっている。

必要最低限のインターフェースだけを備えるミニマルデザインを実現できた理由は、専用の「Bose Musicアプリ」でより細かな操作・設定ができるからだ。さらにボーズのスピーカーとしては初めてAIアシスタントの音声操作にも対応している。本体の動作状態や再生中楽曲のジャケット写真などがフロントパネルのカラー液晶に表示されるので、電源オン時のルックスは一段と華やかになる。オーナーの所有欲を大いに満足させてくれるだろう。

楽しさを膨らませるイノベーティブな機能の数々が、高さがわずかに約20cmというコンパクトなシングルボディにぎゅっと詰まっている。ワイヤレス接続はWi-FiとBluetoothの両方をサポートした。ホームネットワーク経由でAmazon AlexaのAIプラットフォームに接続して、Amazon Musicのストリーミング再生や数々のスマート機能が楽しめる。

スマートスピーカー

Bose

トリプルブラック



ラックスシルバー

HOME SPEAKER 500

¥47,000 (税抜) ▶ 投票 No.036 Bluetooth WiFi CERTIFIED

SPEC ●主な搭載機能:Bluetooth、無線LAN、Amazon Alexa、アナログ音声入力(ステレオミニ)、グループ再生機能 ほか ●外形寸法:170W×204H×110Dmm ●質量:2.1kg

HOME SPEAKER 500の先進的な音楽リスニングスタイル



声で直感的に曲操作ができる



2018年10月上旬現在、Amazon Alexaに対応し、簡単に音声操作ができる。頭に思い浮かんだ気分や季節などをキーワードに伝えるだけで、AIが最適な楽曲を再生してくれる。また、今後予定しているソフトウェア・アップデートで、新たな音声アシスタント機能にも対応。使い勝手はますます広がっていく。



あなたに合った曲を推薦



無料スマホアプリ「Bose Music アプリ」を使えば、アプリ内で定額音楽配信サービスの「Spotify」や「Prime Music」などから本アプリ内で楽曲を選べる。また、再生した楽曲データの履歴を元に、ボーズ独自のアルゴリズムであなたに最適な曲をレコメンドする「For You」機能も搭載する。

ホームスピーカー

CHECK



対応する音楽配信サービスも多彩

Amazonのプライム会員の特典である「Prime Music」をはじめ、4000万曲以上の楽曲が聴き放題の「Spotify」、そして12万局以上のインターネットラジオやポッドキャストの再生アプリ「TuneIn」に対応。あなたのスタイルに合わせて選べる。

Bose Musicアプリに組み込まれているSpotify連携もぜひ活用したい。なお、今後のソフトウェアアップデートによってアップルの「AirPlay 2」や他の音声アシスタント機能にも対応が予定されている。ネットワーク系の楽しみがさらに広がるものと期待してよさそうだ。

アプリのガイダンスに従えば、迷わずにスピーカーのセットアップが完了する。長年に渡ってボーズが積み上げてきたノウハウがあるからこそ、本機のように誰でも簡単に楽しめるネットワークオーディオが実現できるのだ。

Amazon Alexaの音声操作を試してみると、その反応がとても俊敏かつ正確であることに誰もが気が付くはずだ。ボーズのノイズキャンセリング・ヘッドホンなどで培ってきた技術を応用し、独自の高性能マイク8基を組み合わせて本体の天面に配置したことにより、大きな音量で音楽が

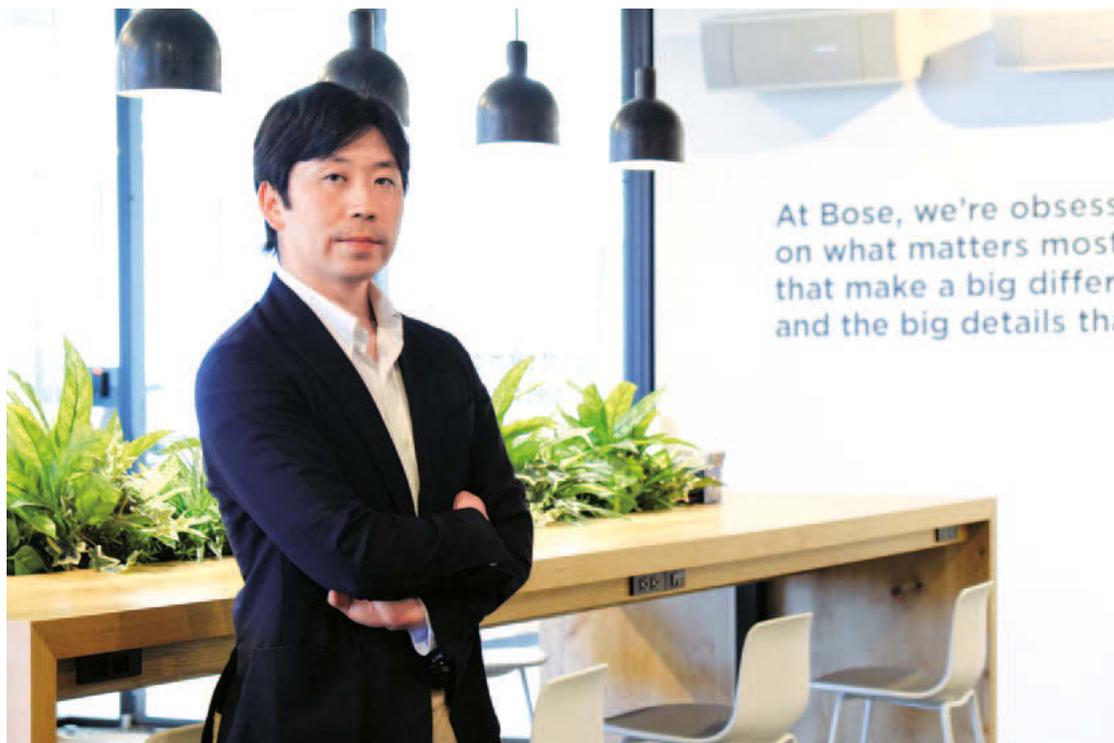
再生されている環境でも、発話された音声コマンドを確実にピックアップしてくれる。ストレスを感じないから音声操作も自然と使ってみたくなる。

この革新的なスピーカーが一体どんな音を楽しませてくれるのだろうか。筆者も初めて聴いた時に、圧倒的に広い音場感と無尽蔵のエネルギーを伝える力強さに思わず息を呑んでしまった。描き出されるステージの情景はあまりにもリアリティに富んでいて、ステージで演奏するアーティストが目の前にまで迫ってきた。“ながら聴き”も疲れさせないナチュラルなバランス感覚も備えている。

BOSE HOME SPEAKER 500は音楽リスニングの新たな扉を開くプレミアムスピーカーだ。すべての音楽ファンにこの未知の体験を味わってほしいと思う。(山本 敦)

大久保 淳

- Atsushi Okubo -



ボーズが「HOME SPEAKER 500」で目指したこと 「かつてないスマートスピーカーで 新たな音楽体験を楽しんでほしい」

音声操作に合わせた設計を採用

—今回、これまでにない新コンセプトのホームスピーカーが登場します。まず企画背景から教えてください。

大久保氏(以下、敬称略)「ボーズはこれまでお客様が求めるコンテンツにひも付き、製品開発を行ってきました。近年ではiPodが登場した際、メディアがCDやMDからデジタルデータに変わるタイミングに合わせていち早くDockを使った音楽スタイルを提案しました。現在は、スマートフォンに加えて『Googleアシスタント』や『Amazon Alexa』などの『VPA(バーチャル・パーソナル・アシスタント)』が登場し、オーディオ製品は大きな転換期を迎えています。VPAの本場であるアメリカでは、多くの方がスマートスピーカーでそのメリットを享受しており、使用用途のトップは音楽リスニングなのです。VPAはスピーカー開発を行うボーズとも親和性が高く、取り入れない理由はありません。そこでスマートスピーカー『BOSE HOME SPEAKER 500』を開発しました」。

—「HOME SPEAKER」という商品名は直球でわかりやすいですね。では、スピーカーを室内用途にした理由と商品設計の面でこだわったポイントを解説してください。

大久保「VPAはポータブルスピーカーやヘッドホンに搭載されることが多い機能ですが、用途のほとんどが室内です。ホームスピーカーはボーズ

のメインカテゴリでもありますので、家の中にあるスマートスピーカーとしてHOME SPEAKER 500が提供できるベストパフォーマンスは何かを考えました。

—ご好評いただいているポータブルBluetoothスピーカー『SoundLink Mini Bluetooth speaker II』は、コンパクトな筐体にボーズの音響技術



スピーカードライバーを背面对向に配置

ボーズ独自のスピーカードライバーを2基搭載。背面对向に配置することでステレオ再生かつ180度に広がるサウンドを実現している。また対向配置したことでドライバーによる振動をキャンセルする効果も見込め、よりクリアなサウンドを再生できる。

を凝縮させたモデルですが、リスニングエリアは絞られていました。一方、スマートスピーカーには音声操作が追加されますので、ユーザーが部屋のどこにいても均一な音質で聴こえること、またどこから声をかけても正確に声をピックアップできることが求められます。そこでHOME SPEAKER 500では、スピーカードライバーを背中合わせに配置し、部屋中に広がるクリアなサウンドを実現しました。また、ステレオ録音されている音楽をモノラル再生することに抵抗感がある方もいらっしゃるので、本機はステレオ再生にもこだわりました。ドライバーは小型筐体に最適化したもの。さらにサイズ以上の低域再生を実現するために、ポート設計にもこだわっています。そして、天面には片側4個、合計8個のマイクを搭載し、正確な声のピックアップにもこだわっています。

いい音を自分らしく楽しんでほしい

—スマホアプリも一新しました。

大久保「『Bose Musicアプリ』には、アプリ経由で音楽再生した聴取履歴をベースに楽曲をお薦めする『Just For You』機能を追加しています。過去、こうしたレコメンド機能の搭載は検討したことがあり、研究は



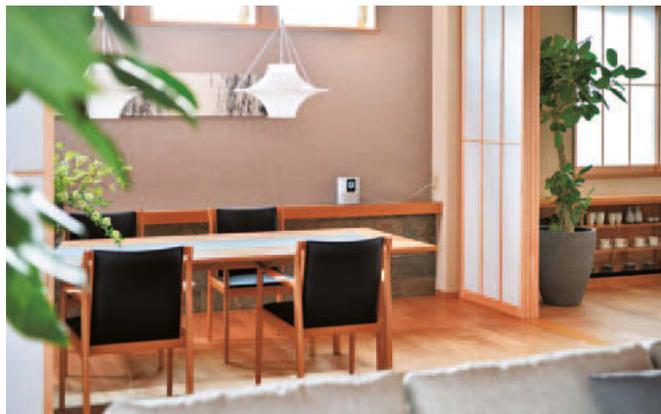
大人数で音楽をシェアできる

音楽再生するのに必要なのは声だけ。個人のスマホに縛られないから、部屋にいる誰でも自由に選曲ができる。スピーカーの聴こえ方も前後、左右どの場所にも聴こえ方は同じなので、例えばダイニング・キッチンのような家族が集まる場所でもHOME SPEAKER 500は活躍してくれる。



操作に迷うことはない

シンプルイズベスト。HOME SPEAKER 500は音声以外の操作も非常に洗練されている。ミニマルデザインの天面にはタッチ操作できる再生一時停止ボタンのほか、各種プレイリストをワンタッチで呼び出せる6つのプリセットボタンを用意。お気に入りの楽曲にワンタッチでアクセスできる。



広い部屋でも自然な音が包み込む

HOME SPEAKER 500の音は、壁に反射させることも見越してチューニングされている。そのため、設置場所を気にすることなく、思い思いの場所に設置することができる。また、LDKのような広い空間も満たせるパワフルなサウンドだから、部屋のどこにいても音楽を心地よく楽しめる。

長く続けていました。日々スマホを使って音楽を聴いている人にとっては、こちらのアプリの方が操作性は高いと感じるかもしれません。私たちは決して声だけに操作を限定していません。天面にはプレイリストが再生できるプリセットボタンを搭載するなど、ユーザーが使いやすい操作を選べるように設計しています。入力コンテンツも選べるように設計しており、定額音楽配信だけでなくBluetoothやAUX入力も選べます。

—音が壁に反射して、音がより広がるように感じます。音づくりで力を入れたポイントを教えてください。

大久保「音づくりの基本コンセプトは『コンサートホールの再現』であり、昔も今も変わっていません。実際の生音に近い音を目指しており、スペックではなく音響心理学に入り込む設計を追い求めています。とはいえ、リスナーは常に変わっていくもの。若い世代に最適な音づくりも求められていますので、うまくバランスを取ったサウンドに調整していますので、いい音と感じていただけたらと思います。」

—いつの時代もブレない安定したボーズサウンドは健在ということですね。本日は、ありがとうございました。

取材を終えて…

新しい音楽体験を生み出すスピーカーだ

取材を通じて感じたことは、ボーズのスマートスピーカーは、天気やニュースを聞くためのスピーカーではない。明らかにBGMを生み出すスピーカーだということ。広がるサウンドは非常にパワフルで、好みの音楽をノンストップで再生していると、スピーカーの存在を忘れてしまい、音楽が空気と融合したような不思議な感覚を味わえた。選曲も直感的。もっともっと音楽が聴きたくなる、いまだかつてないスピーカーだと感じた(編集部)。

Profile

製品デモを交え商品コンセプトや設計について語ってくれたボーズ、大久保氏。製品開発に近い立場で、本社とのやり取りを行う新旧ボーズ製品をよく知るスペシャリストだ。





光る演出!
水にも強い



スマートスピーカー

Sony SRS-XB501G

¥OPEN ▶投票 No.037 Bluetooth Wi-Fi

SPEC ●外形寸法:約232W×228H×210Dmm ●質量:約3,100g ●お問い合わせ:ソニー ☎0120-777-886

光るスマートスピーカー!

Googleアシスタント搭載のスマートスピーカーだが、大口径125mmのサブウーファーでズンズン重低音再生ができるパーティースピーカー。IP65の防水・防塵にも対応した完璧なアウトドア仕様で、再生音楽にあわせて前面が光るライティング機能で、パーティーを盛り上げよう!

みんなで盛り上がる!

パーティー向け スピーカー

ワイヤレススピーカーの魅力のひとつは、好きな音楽をみんなで一緒に楽しめること!ここでは、みんなで楽しむパーティーを、より盛り上げてくれる注目製品を集めました。

文/編集部



どこから音が!?

え?棚から音が!?

独自の骨伝導技術を搭載するスピーカー。SP-1は空気ではなく机や棚などを震わせて音を出すので、まるで棚がスピーカーになったようなまったく新しい音楽体験を楽しむ。手品のようなスピーカーでみんなを驚かさう!

骨伝導スピーカー

docodemoSPEAKER SP-1

¥OPEN ▶投票 No.039 Bluetooth

SPEC ●外形寸法:約54H×77φmm ●質量:約360g ●お問い合わせ:BoCo ☎03-6225-2079



Bluetoothスピーカー

JBL XTREME2

¥OPEN 2018年10月26日発売

▶投票 No.038 Bluetooth

SPEC ●外形寸法:約288W×136H×132Dmm ●質量:約2,393g ●お問い合わせ:ハーマンインターナショナル ☎0570-550-465

外でも大活躍!



BBQやキャンプで大活躍!

XTREME2は、アウトドアでこそ大活躍するBluetoothスピーカーだ。最大15時間のワイヤレス再生ができ、IPX7相当の防水仕様!付属のショルダーストラップで持ち運びもかんたんにできるほか、ベルト調整部には、ボトルオープナーの機能を備えている。BBQやキャンプで重宝する1台だ。

映像と音楽を融合させた

最大100インチを投写するモバイルプロジェクター。Wi-Fi接続すれば、Netflixなどの動画配信サービスも利用可能。360度に音が広がるスピーカーも内蔵し、スマホの画面をミラーリングすれば、家でも外でも、これ一台で大画面を楽しめる。

スピーカー搭載モバイルプロジェクター

Anker Nebula Capsule

¥39,800(税込) ▶投票 No.040 Bluetooth

SPEC ●外形寸法:120H×68φmm ●質量:約470g ●お問い合わせ:アンカー・ジャパン ☎03-4455-7823



観よう! 聴こう!

豪華プレゼントが当たる!

プレゼント&アンケート

応募締め切りは2019年2月25日

アンケートにご回答いただいた方の中から抽選で、豪華プレゼントが当たるアンケートを実施中! ご応募は右のWEBからできます。ドシドシ、ご応募ください!

記載のQRコード、もしくは下記のURLで専用のアンケートページにアクセスいただき、順番に従ってアンケートにご回答ください。

<https://jp.surveymonkey.com/r/pca15>



プレゼント賞品

A賞



SPINBOX SPINBOX

[1名様] 提供:株式会社銀座十字屋 デリゲント事業部

世界初!自分で組み立てるレコードプレーヤー「SPINBOX」を、1名様にプレゼント。特別な機材やパーツを別途購入する必要はなく、組み立ては5ステップ、約20分で完成するという。外装には、高品質・耐水性の紙素材を採用。USB電源(micro USB)で動作し、モバイルバッテリーにも対応する。スピーカーも内蔵するので、モバイルバッテリーと組み合わせれば、アウトドアやパーティーなど場所を問わずどこでもアナログレコードが楽しめる逸品だ!

B賞



Marshall KILBURN

[1名様/ブラック]
提供:加賀ソルネット株式会社

ロック史を語るうえでは欠かせないブランド「Marshall」。今回は同社らしさを踏襲したヴィンテージ感あるデザインが特徴のワイヤレススピーカー「KILBURN」を1名様にプレゼント。

C賞



Bang & Olufsen ブランドロゴ入り USBメモリー

[3名様]
提供:完実電気株式会社

洗練されたデザインと音質で世界を魅了するデンマークのオーディオブランド「Bang & Olufsen」。今回はブランドロゴがあらわれたUSBメモリー(8GB相当)を3名様に!

アンケート項目

Q1 本誌をどの売り場で手に取りましたか?

A: Bluetoothスピーカー B: ハイコンボ C: Hi-Fiオーディオ D: ヘッドホン
E: フロアの入り口 F: その他 G: PHILE WEB

Q2 コンパクトオーディオをご購入する際の大まかな予算は?

A: 10,000円未満 B: 10,000円以上20,000円未満
C: 20,000円以上30,000円未満 D: 30,000円以上50,000円未満
E: 50,000円以上100,000円未満 F: 100,000円以上

Q3 コンパクトオーディオを購入する際、重視する順番は?(3位まで)

A: 音質(重低音の再現) B: 音質(バランスのよい再現) C: ハイレゾ再生対応
D: デザイン E: サイズ感 F: 価格 G: 色 H: ワイヤレス接続の有無
I: 内蔵バッテリーの有無 J: NFC対応 K: 防塵防水対応
L: マルチルーム機能 M: AI機能 N: その他

Q4 スマートスピーカーはすでにお持ちですか?もしくは興味がありますか?

A: すでに所有している B: 興味はあるが購入していない C: 興味がない

Q5 Q4でA,Bを回答された方は、所有している、もしくは興味のある商品名を教えてください。また、よろしければその製品を選んだ理由も教えてください。

Q6 現在所有している機器と、これからほしい機器を教えてください。

A: Bluetoothスピーカー(1BOXタイプ) B: Bluetoothスピーカー(2chタイプ)
C: システムステレオ(ハイレゾ再生非対応) D: システムステレオ(ハイレゾ対応)
E: デスクトップ用スピーカー F: USB DAC G: アクティブスピーカー
H: Hi-Fiスピーカー I: プリメインアンプ J: ヘッドホン/イヤホン K: その他

Q7 興味の湧いたオーディオ商品はありましたか?
本誌掲載の投票No.(1~122)でご回答ください(5つまで)

Q8 本誌へのご意見、ご要望を自由にご記入ください。

アンケートのご協力、誠にありがとうございました。

本アンケートは「プレミアムコンパクトオーディオガイド」誌発行の株式会社音元出版(以下、当社)が運営しております。回答情報の取り扱いについて同意の上、アンケートにご回答ください。ご回答いただいた情報は、商品/サービス等(当社のものに限定しない)に関する調査、当社からの案内の送付等(他社のカタログおよびサンプル等を含む)のため、当社において利用する場合があります。また、特定個人を判別できない方法により、第三者に対し開示する場合があります。本アンケートのプレゼントの当選発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。あらかじめご了承ください。

この重低音を待っていた! オーディオテクニカ

クリアかつディープ、そしてキレのある低域表現で、ヘッドホンシーンを席巻する「SOLID BASS(ソリッドベース)」。
そのサウンドが、ついにBluetoothスピーカーでも味わえる。コンパクトでも臨場感をあきらめない、すべての音楽ファン必聴のアイテムだ。



Bluetoothスピーカー

AUDIO-TECHNICA AT-SBS50BT

¥OPEN ▶投票 No.041 Bluetooth®

SPEC ●通信方式:Bluetooth標準規格Ver.5.0 ●対応コーデック:SBC、AAC ●最大出力:4W ●ユニット構成:40mmフルレンジスピーカー×1、パッシブラジエーター×2 ●連続再生時間:最大約10時間 ●外形寸法:105W×100H×45Dmm ●質量:約285g

▶DETAIL

防水仕様で扱いやすい

片手でかんたんに持ち運べるサイズで、縦置きでも横置きでも使える。さらにキッチンなどの水回りやアウトドアでも使える、IPX5相当の防水性能を持っている。

重低音を全方位に

本体の天面と底面に低域を增强するためのパッシブラジエーターと、そこから放出される重低音を拡散させるディフューザーを搭載。全方位にベースサウンドを解き放つ構造となっている。



コンパクトなのに鮮烈な重低音

鮮烈な重低音を聴かせるオーディオテクニカの人気ヘッドホン「SOLID BASS(ソリッドベース)」。ヘッドホンシーンを席巻したサウンドを、ミニマムサイズのスピーカーに凝縮したモデルが「AT-SBS50BT」だ。コンパクトな筐体は、一見するとスタンダードなBluetoothスピーカーだが、本体内部には40mmフルレンジスピーカーと、迫力のある低域を創出する“デュアルパッシブラジエーター”を搭載し、重低音専用ディフューザーで音を立体的に広げて筐体内の低域エネルギーを全方位に解き放つ構造を持つ。音の再現性に優れたアルミニウムハニカムパンチングのボディも含めて、オーディオ志向の設計が徹底されたモデルなのだ。縦置きも横置きもOK、そしてIPX5相当の防滴仕様で水回りで使えるタフさも兼ね備える。実際にスマホとペアリングして音楽を聴くと、サウンドはまさにソリッドベース。エネルギーギッシュな重低音と、リズムの刻みのアタックの鋭さはボディサイズ以上。RADWIMPS『前前世 (movie ver.)』を聴いてもベースのキレとボーカルのクリアさが際立つ。ロックやJ-POPにマッチする、実力派の小型スピーカーだ。

SOLID BASS®

、会心のワイヤレス

文/オーディオビジュアル評論家
折原一也

さらにパワフルで情報量も豊か

ソリッドベースの名にふさわしい重低音を、さらに高次元で実現してくれるのが、この「AT-SBS70BT」だ。スリムなボディに53mm大口径ドライバーを2基搭載。さらに本体の天面にはパッシブラジエーターを2基配置し、専用ディフューザーで全方位に音を拡散する重低音ブースト仕様となっている。剛性が高く、音の再現性に優れたアルミニウムハニカムパンチング筐体ながら、IPX5相当の防水性能も備える。外にも持ち出せるタフネス仕様だ。また、AndroidスマートフォンなどとaptXコーデックで接続できる。よりオリジナルの音源を忠実に伝送すべく、デジ

タル領域でも高音質化が図られている。

実際にAT-SBS70BTとaptX対応のスマホの組み合わせで音楽を聴くと、その個性は際立つ。

ブルーノ・マーズ『24K Magic』では、ディープな重低音の沈み込みとソリッドなリズムの刻みで、ダンスフロアにいるかのようなパワーが漲る。サウンドフィールドに広がりがあり、ボーカルはキレ味も備える。しっとりとした女性ボーカルのバラードを聴いても、歌声に厚みをもたせて丁寧に鳴らす。さらにピアノの質感も引き出すほど、中域にも情報量がある。

オーディオテクニカのヘッドホン、ソリッドベースの重低音がお気に入りなら、スピーカーはこれでキマリだ！

▶DETAIL

より深くキレのあるベース

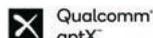
aptXコーデックにも対応した高音質モデル。天面にはツインパッシブラジエーターを搭載。さらにディフューザーも搭載しており、よりディープでキレのある強力な重低音を、全方位に拡散できる構造となっている。ちなみに本機もIPX5相当の防水性能を備える。



Bluetoothスピーカー

AUDIO-TECHNICA AT-SBS70BT

¥OPEN ▶投票 No.042



SPEC ●通信方式:Bluetooth標準規格Ver.5.0 ●対応コーデック:SBC、AAC、aptX ●最大出力:8W+8W ●ユニット構成:53mmフルレンジスピーカー×2、パッシブラジエーター×2 ●連続再生時間:最大約11時間 ●外形寸法:220W×95H×60Dmm ●質量:約670g





AUTUMN/WINTER 2018 COLLECTION

バング&オルフセン、芸術 限定カラーアイテムを見逃

北アフリカの雄大な空、大地の力強さをイメージ

バング&オルフセンのカジュアルラインが誕生して6年が経った。サウンドに機能、デザインのすべてに最高峰を追求してきたブランドは男女の、あるいはオーディオを愛するマニアとライトな音楽ファンの間を横たわる垣根を越え、多くの人々の感性とつながり、親しまれてきた。

ここで紹介するワイヤレススピーカー「Beoplay P6」は、デンマーク出身の女性デザイナー、セシリエ・マンツ氏の手による新作。透明感あふれるナチュラルなサウンドと心地よい操作性が話題を呼んでいる。

そして注目してほしいのはカラーバリエーションだ。ブラックとナチュラルのほか、2018年秋の新色としてダークプラムとライムストーンが加わった。「どちらも北アフリカの雄大な空、大地の力強さをイメージしたカラー

です。アルミニウムや本革が持つ素材本来の魅力を生かしながら、オーディオ機器の型にはまらないP6のデザインを引き立たせたかった」と、バング&オルフセンのデザイン・コンセプトマネージャー、マッツ・ヘジ・フグルサング氏は振り返る。

実際に試聴してみると、そのサウンドもまた鮮やかな生命力を感じさせるキャラクターだ。オープンな空間の再現性にも富んでいる。爽やかなミントのような響きを残しながら余韻は静寂の向こうに溶けていく。筐体内部の前後に向けてスピーカーユニットを配置したことで、360度全方向へ均等にスムーズな音を広げてくれる。コンパクトなスピーカーとしては型破りに感じるほどバネの効いた低音の鋭いインパクトは聴き込むほど

PICK UP



通常カラーのブラックとナチュラルに加えて、「ライムストーン」と「ダークブラム」が新たに登場した。



天面に配置されたボタンは、アルミボディと一体化しており、優しく触れて押すようにデザインされている。美しいだけでなく使い勝手までも洗練されており、こだわりは細部にまで渡る。



人気のワイヤレススピーカーに新色が登場!

Bluetoothスピーカー
Bang & Olufsen

P6 AUTUMN/WINTER
2018 COLLECTION

¥46,287 (税抜)

▶投票 No.043



SPEC ●通信方式:Bluetooth標準規格 Ver.4.2 ●連続再生時間:約16時間 ●外形寸法:170W×130H×68Dmm ●質量:約1kg

伝説的名機からインスパイア

アルミニウムで構成された機能美あふれるモダニズムの傑作、歴史的な名機「Beomaster 6000」にインスパイアされてデザインされたワイヤレススピーカー「Beoplay P6」。Bang&Olufsen独自のアルゴリズムに基づく高度なDSPを持ち、心地よいサウンドを360度に放つようにデザインされている。バッテリー内蔵で最長16時間再生できる。IP54相当の防滴・防塵仕様。ストラップは革製でインテリアにも馴染みやすく、家中どこにでも持ち運んで使えるのもうれしい。

ヘッドホンやイヤホンにもNEWカラー!

Bluetoothヘッドホン

Bang & Olufsen



H9i AUTUMN/WINTER
2018 COLLECTION

¥55,463 (税抜)

▶投票 No.044



最高級のラムスキンレザーを配した美しく洗練されたデザイン。アクティブノイズキャンセリング機能や、ヘッドホンを外すと音楽再生が自動停止するインテリジェンスセンサーなど、最先端のテクノロジーが搭載されたプレミアムモデルだ。

Bluetoothイヤホン

Bang & Olufsen



E6 AUTUMN/WINTER
2018 COLLECTION

¥30,463 (税抜)

▶投票 No.045



ゴムとポリマーを採用した、汚れや汗にも強いハウジングが特長。人間工学を追求した形状で、安定した装着性にもこだわったネックバンドスタイルのワイヤレスイヤホン。もちろんハンズフリー通話にも対応する。

LINE UP

の秋を彩るすな!

オーディオ史に燦然と輝く伝説的な北欧ブランド、Bang&Olufsen。デザインとテクノロジーを高次元で融合させた、機能美あふれるプロダクト群は、いずれもモダンデザインの傑作として、人々を魅惑し続けている。そしてこの秋、アートのように美しい、トレンド色を纏った限定カラーアイテムが登場! 芸術の秋を、美しいプロダクトとともに彩ってみては?

文/オーディオビジュアル評論家 山本 敦

に魅了されるだろう。

使いこなしも楽しい。スマホ専用アプリ「Beoplay」に搭載するイコライザー機能で低音の厚みをリッチにしたり、高域の透明感に磨きをかけたり。音楽のジャンルや聴く場面に合わせて音のカスタマイズが楽しめる。天面にある「スマートボタン」には、ペアリングしたスマホの音声アシスタントを呼び出す機能などを自由に割り当てられる。

日常生活に音楽をさりげなく添えて“ながら聴き”を楽しみたい時、あるいは腰を据えてじっくりとリスニングに向き合いたい時の両方に、この1台が驚くほどの充実感を与えてくれる。ぜひお好みのカラーで、このオールマイティなスピーカーを手に入れてみてはいかがだろうか?



ドイツ・ベルリンで開催された家電見本市「IFA2018」の会場取材に当たったMads Heje (マッズ・ヘジ・フグルサング)氏。ワイヤレスヘッドホン「H9i」のコンセプトワークも手がけるブランドの顔。「P6はBang&Olufsenのクラフツマンシップが詰まったスピーカー。妥協のない仕上がりをぜひ手にとって確かめてほしい」と語っていた。

ワイヤレススピーカーを購入して 定額音楽配信をはじめよう

スマートスピーカーは会話できることに注目が集まりがちですが、音楽再生に使うのも非常に便利です。ただ、「ミステルの曲を再生して」と声かけるだけで再生できるようにするには定額音楽配信サービスの加入が必要。多くは月額1000円前後で、3500~5000万曲が聴き放題になるので、スピーカー購入に合わせてはじめよう! 文/編集部

気分に合わせて音楽を聴く楽しさがある

インターネットと接続し、音楽をストリーミングで聴くスマートスピーカー/Wi-Fiスピーカー。Bluetoothスピーカーはスマホ内に保存した音楽をワイヤレスで聴くのが主なスタイルだが、Wi-Fiスピーカーはスピーカー自体にストリーミング音楽再生機能が搭載されているのが特長だ。そんなWi-Fiスピーカーの魅力を最大限発揮させるのが「定額音楽配信」である。日本でもダウンロード販売よりも売上が好調というニュースが流れるなど、使う人がドンドン増えてきているサービスだ。一番の特長は楽曲数が豊富なところ。サービスの先駆者である「Spotify」では4000万曲。iPhoneの初期アプリに入っている「Apple Music」なら5000万曲が聴き放題になる。しかも価格は1,000円前後とCDシングル1枚程度。アーティストポリシーなどで、一部の人気楽曲の配信がないということもあるが、自分が今まで聴いたことがなかった音楽と巡り合える他にはない魅力がある。またサービスの多くはプレイリストにこだわっており、音楽ジャンルはもちろん、気分や季節、近く開催されるフェスといった感じで、キュレーションされた楽曲を聴く楽しさもある。Wi-Fiスピーカーを購入するなら、絶対に定額音楽配信をはじめよう!



月額1000円前後で、3500万曲以上が聴き放題になるサービス。ストリーミングが主な使い方だが、モバイルユースに便利なダウンロードもできる。またWi-Fi使用時は高音質、4G使用時はデータ通信量重視になるなど、利便性も高い。

STEP 01 サービスの楽しみ方を知ろう! →受信方法は様々。自分のスタイルに合わせて選ぼう!



ポピュラーかつ手軽な使い方は、スマホアプリを使うことだ。スマホで通信して再生するので、組み合わせるのはBluetoothスピーカーでOKだ。ヘッドホンなども相性がよいが、着信があった際に音楽が止まりハンズフリー通話を求められるので、そうした動作が煩雑と考える方はWi-Fiスピーカーを使うことをお勧めしたい。



スマートスピーカー/Wi-Fiスピーカーは、スピーカー自体に定額音楽配信の音楽コンテンツを再生する機能を搭載しており、スマホを紐付けずに音楽再生できるのがポイントだ。通信量の心配がないため高音質データを受信でき、その高音質データを非圧縮で再生できるため、音質面でのメリットも大きい。



PCでも再生できる。多くはブラウザ再生だが、独自のアプリを用意し使い勝手を向上させているサービスもある。またPCはノイズが多いため、再生する際は音声ヘッドホン出力ではなくUSBからデジタル出力できるUSB DAC搭載のアクティブスピーカーを選ぶと、より高音質再生できるのがお勧めだ。

STEP 02

各サービスの個性を知ろう!

→ 楽曲数はもちろん、対応スピーカーの多さにも注目!

対応音楽配信サービス	楽曲数	代表的な料金(税込)	無料期間	スピーカー連携
Spotify	4000万曲	¥980	Freeプランあり	◎
Google Play Music	4000万曲	¥980	30日	◎
Amazon Music Unlimited	4000万曲	¥980	30日	○
Prime Music	100万曲	Amazonプライム会員の特典	なし	○
LINE MUSIC	4700万曲	¥960	3ヶ月	△
AWA	5000万曲	¥960	Freeプランあり/ スタンダードは3ヶ月	◎
dヒッツ	6000 プログラム	¥540	31日	△
うたパス	4000 プレイリスト	¥540	30日	○
Apple Music	5000万曲	¥980	3ヶ月	○ (今後)
Deezer HiFi	3600万曲	¥1,960	30日	○
KKBOX	4000万曲	¥1,080	1ヶ月	△
レコチョクBest	600万曲	¥980	最大1ヶ月	×

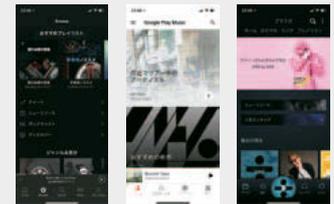
スピーカー連携で差がつく

配信サービス会社の多くはグローバル展開しており、配信楽曲数も4000~5000万曲と非常に多い。一方、国内サービスはカタログ数こそ少なめだが、安室奈美恵など他社では配信されていない邦楽アーティストに強い傾向がある。また、スピーカーとの連携機能にも注目してほしい。「Spotify」はGoogleアシスタントや各社のスピーカー連携も多彩で加入して間違いないサービス。また今後期待できるのは「Apple Music」で、国内展開が遅れている「Homepod」や「AirPlay 2」対応機器の広がりに合わせて利便性はよくなっていくだろう。

CHECK

スマホ利用がメインならUIもチェック

Wi-Fiスピーカーも使うが、スマホ利用が多い方なら、アプリのUIは見逃せない選ぶポイント。純粋にデザインの見やすさ、使いやすさという面も重要だが、ピックアップされるプレイリストのセンス、関連アーティストのセンスなど、サービスによって大きく異なるので無料期間中に、ガンガン試してみよう。



STEP 03

各サービスの長特をおさらいしよう!

→ 音質面やプレイリストなどで各社差を付けている!

音質重視



「DEEZER HiFi」

FLAC、44.1kHz/16bitというCDクオリティで配信する国内で唯一のサービス。そのぶんデータ量が多いが、モバイルユースの際は320kbpsでオフラインダウンロードもできる。音質重視なら、これ一択。

万能選手



「Spotify」

曲数、スピーカー連携、プレイリストのセンスのよさ。すべてのバランスがよく、加入して間違いないサービス。音質は320kbpsが最大音質。広告が入るがフルバージョンの再生ができる無料プランもあるので、お試しあれ!

これから期待大



「Apple Music」

iPhoneユーザーならデフォルトでインストールされているサービス。For You機能など、使っていくごとに洗練される。現状では国内のオーディオ機器との連携はごく一部に限られているが、AirPlay 2の広がりに期待したい!

スマートスピーカーと相性抜群

「Google Play Music」

Googleアシスタントで音楽再生を指示すると最初に選ばれるため、スマートスピーカーユーザーは注目してほしい。5万曲まで無料で楽曲をアップロードできるなど、ライブラリーを一元管理できるのも大きい。



「Prime Music」

曲数は100万曲だが、Amazonプライム会員に入るだけで使えるので利用者は多い。Alexaとの連携を考えるとこちらに加入するのがよい。曲数を4000万曲まで広げる「Amazon Music Unlimited」もある。



「AWA」

プロ、ユーザー問わず多彩なプレイリストが魅力的な国内サービス。Alexaスキルの投入。Chromecast built-inに対応するなど、スピーカー連携にも力を入れている。スマホアプリのUIも洗練されており、非常に使いやすい。





INTERIOR LIST

●リビングボード:REMBASSY COMMON shelf [DOOR] ¥148,000 (税抜) ●シェルフ:REMBASSY COMMON shelf [OPEN] ¥124,000 (税抜) ●ソファ:REMBASSY MANI sofa 3P [H] ¥330,000 / [RH] ¥475,000 (税抜) ●ダイニングテーブル:REMBASSY KAHVI dining table ¥339,000 (税抜) ●チェア:CIVIL chair ¥48,000 (税抜)、以上すべてリグナテラス東京 ☎03-6222-0760

美しさを極めたプレミアムオーディオ テクニクスの新たな革命

オーディオの世界に次々と革新をもたらしている、新生テクニクス。
その次なる挑戦は、ワイヤレススピーカだ。設置場所に左右されずに最高のパフォーマンスを発揮する音響技術を搭載。
洗練されたアルミトップパネルを持つ、アーチ型の美しいワンボディから放たれる、
プレミアムクラスのみずみずしいサウンドは、毎日の暮らしに彩りを加えてくれるだろう。

文/オーディオビジュアル評論家 鴻池賢三

どんな設置環境でも、最高の音楽体験をもたらす

プレミアムなオーディオ体験をもたらす新生テクニクス。ハイレゾ時代に相応しい革新的なデジタルハイエンドオーディオコンポーネントを皮切りに、ハイコンポやワンボックスタイプのオーディオも続々とリリース。その意欲的な取り組みは、かつて世界を席卷した日本オーディオブランドの復権をも感じさせる。

そんなテクニクスが、また新たなオーディオの世界を切り拓く。ネットワークオーディオ時代を見据えたワイヤレススピーカ「SC-C50」だ。本機はテクニクスブランドのコンパクトシステム「OTTAVA」の中で、新しく「OTTAVA S」という名が冠せられ、「S」はSTYLE(スタイル)を意味する。

音質面では、コンパクトな筐体ながら、直径16mmトウイーターを同軸配置した直径65mmホーンスピーカ3組と、ロングストローク設計の直径120mmサブウーファを組み合わせた3.1ch構成を採用し、扇形のフロント形状からもイメージされるように、音をワイドに展開。ステレオ

音場を部屋中に広げる設計だ。アンプ部はテクニクス独自のフルデジタルアンプ「JENO Engine」を4基採用。各ユニットを正確かつ強力にドライブする。ほか、新生テクニクスの新技術「LAPC」によるインパルス応答の改善や、スピーカ本体にマイクを内蔵しており、設置場所に応じた音場補正技術もワンタッチで行えるなど、プレミアムなオーディオとしては画期的な内容だ。さらにiOSデバイスがあれば、リスニングポイントでマイクを用いたキャリブレーションも可能で、部屋の特性を加味したより最適な補正、いい換えると、周波数特性が整った、よりよいオーディオ体験が可能と機能面でも先進的だ。

ネットワーク接続はWi-Fi(2.4GHz/5GHz)および有線接続が可能で、ネットワーク上のハイレゾを含むファイル再生が可能。もちろんUSBメモリーのデータもOK。注目は「Chromecast built-in」対応で、SpotifyやDeezer HiFiといった定額制の音楽配信ストリーミングサービ

ワイヤレススピーカーシステム

TECHNICS



SC-C50

(OTTAVA™ S) ¥85,000 (税抜)
▶投票 No.046

2018年10月26日発売

SPEC ● 定格出力: フロントスピーカー20W+20W、センタースピーカー20W、サブウーファー40W ● 接続端子: 光デジタル入力、ステレオミニ入力、USB、LAN ● 外形寸法: 375W×220H×197Dmm ● 質量: 約5.9kg

CHECK 01

▶ 高音質技術の粋を結集

3組の同軸ホーンユニットとサブウーファーを搭載。計7基のドライバーを内蔵した3.1ch構成のスピーカーシステムだ。テクニクス独自のフルデジタルアンプ「JENO Engine」を各チャンネル計4基採用した贅沢な仕様となっている。



CHECK 02

◀ 凛とした存在感を放つ

アーチ型のフォルムで、背面まで美しくデザインされている。上質な佇まいだ。無線LANだけでなく有線での接続にも対応するほか、光デジタル音声やアナログ音声の外部入力、USBメモリーからの再生も可能だ。



CHECK 03

▶ アプリに対応

音楽再生操作ができるオリジナルアプリが用意されている。設置環境にあわせてサウンドを最適化する「Space Tune™」の切り換えも可能だ。



Technics Music App
iOS / Android
ダウンロード無料



※写真はiPad版

スに直接アクセスができる。

実機を目の前にすると、トURREットのアルミ材が高級オーディオに相応しい存在感を放ち、モノカラーのディスプレイも上質さを際立たせる。背面は放熱用の通風口をデザインに採り入れて調和させ、360度どこから見ても細部まで抜かりのない佇まいは、まるでオブジェのようだ。音質はまさにハイエンドオーディオの風格を持ち、単なるコンパクトスピーカーとは別格。堂々としたサウンドステージが目前に広がる。深く、そして明瞭な低域と、繊細で透明感豊かに広がる高域のコンビネーションは心地よく、音場補正機能を利用すると、さらに空気が軽くなったかのように音が開放的になる。気軽に至極の時間を味わえた。

最新の機能性と革新的な高音質の融合こそ、新しいスタイルの提案といってよく、本機の存在意義といえそうだ。



ワンボディに高音質技術を凝縮した、革新的なワイヤレススピーカー。設置場所に左右されずに高品位なサウンドを届ける「Space Tune™」が「Space Tune™ Auto」へと進化。スピーカー本体に内蔵したマイクで測定をおこない、室内の音響特性にあわせてサウンドを自動調整するモードを備える。「Chromecast built-in」およびGoogleアシスタントにも対応するなど、洗練された使い勝手も備える。

PICK UP



ハイコンボ TECHNICS SC-C500 (OTTAVA™)

¥200,000 (税抜) ▶投票 No.047

SPEC <本体> ● 定格出力: ウーファー40W+40W、トワイター10W+10W ● 接続端子: 光デジタル入力、PC入力、ヘッドホン出力、USB、LAN ● 外形寸法: 360W×91H×248.5Dmm ● 質量: 約3.9kg <スピーカー部> ● 外形寸法: 110W×277H×110Dmm ● 質量: 約1.9kg

ネットワークオーディオ (Wi-Fi/Bluetooth) からCDまで、多彩な音源を1台で楽しめるハイコンボ。スピーカー部は幅・奥行きわずか110mmというコンパクトなボディながら中身は革新的。2ウェイ5スピーカー構成でディフューザーや指向性制御ホーンを内蔵。リスニングエリアが広く、クリアかつ上質なサウンドで部屋じゅうを満たすことができる。



コンパクトステレオシステム TECHNICS SC-C70 (OTTAVA™)

¥100,000 (税抜) ▶投票 No.048

SPEC ● 定格出力: フロントスピーカー30W+30W、サブウーファー40W ● 接続端子: 光デジタル入力、ステレオミニ入力、ヘッドホン出力、USB、LAN ● 外形寸法: 450W×143H×280Dmm ● 質量: 約7.8kg

アルミトップパネルとルーバーで構成された、モダンかつ瀟洒なデザイン。ネットワークオーディオ (Wi-Fi/Bluetooth) からCD、ラジオまで、幅広いコンテンツに対応できる。5つのスピーカーユニットを内蔵し、ハイレゾ再生に対応。新開発の音響レンズで広がりのあるサウンドが楽しめる。設置環境に合わせて最適な音空間を実現する「Space Tune™」に対応する。

For Holiday

音楽の世界に浸れる高音質再生

ポール・マッカートニーのライブも配信されるなど、音楽ライブのYouTube配信は注目されている。ハイレゾはもちろん、音楽ライブもいい音があれば、気分も最高だ。

INTERIOR LIST ●デスク:
F031 デスク ¥150,000
(税抜) 1,300W×725H×
610Dmm ●チェア:イーム
ス サイドシェルチェア
¥56,000(税抜) 465W×
810H/410SH×550Dmm
以上、すべてリグナテラス東
京 ☎03-6222-0760



VECLOSがもたらす プレミアムな毎日

VECLOSの「SSB-380S」なら、PCを使ったデスクトップオーディオをはじめ、ワイヤレス再生、ヘッドホンリスニングなど、多彩なスタイルで音楽を楽しめる。毎日をもっと上質な時間に変える本機の使い方をご紹介します。

文/オーディオビジュアル評論家
鴻池賢三
写真/広井一成

現代のミュージックラバーの音楽スタイルに寄り添うVECLOS

暮らしを彩り、毎日に癒しを与えてくれる音楽。好きな音楽は、部屋の空気を変える力さえある。そんな大切な音楽を、そしてアーティストの想いをより深く受け止めるには「音の質」が重要だ。しかし、旧来の音質重視のオーディオシステムは重厚長大なものも多く、今のリスニングスタイルとは少々馴染みにくい。そこでおすすめしたいのは、デスクトップに置けるコンパクトサイズながらもピュアな音を再生するスピーカー、VECLOS「SSB-380S」だ。

今や音楽はデジタル配信が主流。じっくりと音楽に向き合えるハイレゾ再生やスマホを使ったBluetooth再生、加えてヘッドホンでも高音質再生できるなど、「SSB-380S」は今の時代に適したスタイルが選べるのが特長だ。サウンドもPCを使って聴くハイレゾ再生では、音源に込められた繊細な音や空気感も余す所なく引き出し、コンパクトなボディからは想像できない広大なサウンドステージ、アーティストの熱気やパフォーマンス、テクニックなど

も鮮やかに蘇る。ボーカルが生々しく迫るクリアな描写も圧巻だ。「SSB-380S」が小型ながらもこうした高音質を再生できるのには理由がある。それはサーモスが魔法びんで培ってきた独自の高度な「真空技術」だ。そもそもスピーカーは、ドライバーの正面から放たれる「本来」の音を聴くために、ドライバーの裏面から放出される音をコントロールしようとドライバーを箱に取り付けている。さらに雑味の原因となる「振動」を抑えようと箱を丈夫に作るうとすれば、箱が大きくなってしまふ。VECLOSの「真空エンクロージャー」は、薄い金属板を用いた二重構造で、内部を真空状態にすることで大気圧によるプレッシャーにより高い剛性と制振性を発揮。ノイズのないクリアなサウンドを実現しているのだ。

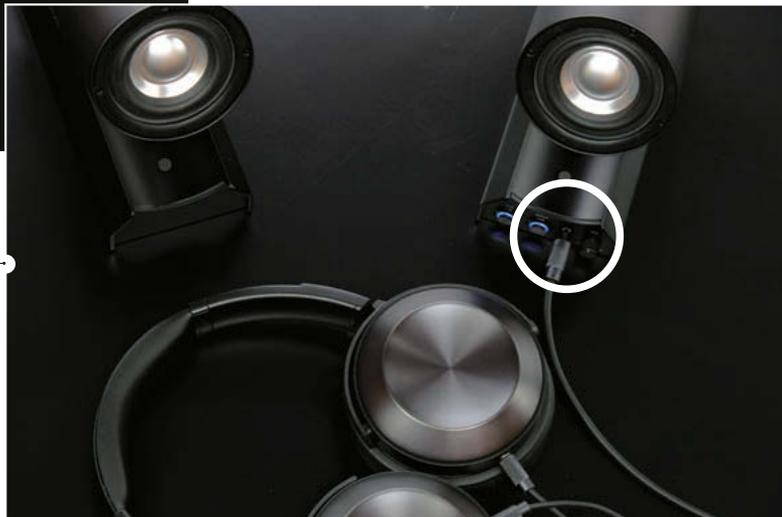
休日はPCでハイレゾや近年増えている音楽ライブの生中継を、普段使いにはスマホからワイヤレスでもいい音で楽しむ。そんな現代のオーディオファイルに「SSB-380S」は寄り添っている。



For Daily Use

帰宅してもスマホの音楽をワイヤレスで

今や音楽再生の中心はスマホだろう。通勤や通学で、Spotifyなどのストリーミングサービスを利用しているユーザーも多いはずだ。「SSB-380S」はBluetooth接続機能も搭載しているので、帰宅してイヤホンを外せば、手間なくワイヤレス接続して音楽の続きをスピーカーから高音質再生できる。操作はスマホそのままに、ただよい音で疲れを癒してくれる。高音質コーデック「LDAC」への対応もポイントだ。



For Midnight

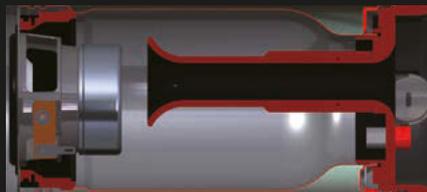
音が出せない時のヘッドホンも高品位に

毎日が忙しく、音楽に耳を傾けるのは夜中になりがち。近隣への音漏れを気にせず、迫力のある大音量で楽しむにはヘッドホンが強い味方だ。そんなユーザーにも「SSB-380S」は最適。上質でパワフルなヘッドホン専用アンプを搭載。透明感溢れる高品位なデジタル・アナログ変換回路と合わせ、上質なヘッドホンリスニングを可能に。VECLOSヘッドホンを組み合わせれば、スピーカーと同じく極上のサウンド体験も可能だ。

一 プレミアムサウンドを支える真空技術、アンプ設計



「SSB-380S」は、ステンレスの2重構造にして内筒と外筒との間を真空にした「真空エンクロージャー」を採用。コンパクトでありながら高い剛性と制振性を持つのが特長だ。写真は、真空状態(左)と非真空状態(右)の一定荷重を加えたときの様子。青部分が多い方が剛性を高いことを示している。



真空層を1mmでも作れば、高い剛性を発揮することができる。VECLOSにはサーモスが魔法びん開発で培った高度な金属プレス加工技術を投入し、最も薄い部分で1mm以下の真空層を保持する設計が採用されている。そのため一般的な木製キャビネットよりも剛性を保ちつつ、小型化が図れるのだ。



ハイレゾ再生するため、DACにはAKM「VERITA AK4490EN」を採用。PCM768kHz/32bit、DSD11.2MHzまで対応する。スピーカー駆動用のアンプ回路には厳選したオーディオグレードの部品を搭載。専用のディスクリート構成で組み上げたヘッドホンアンプも、VECLOSが目指す高忠実度再生の礎となっている。



デジタルオーディオシステム

VECLOS SSB-380S

¥OPEN ▶投票 No.049



SPEC ●主な搭載機能:Bluetooth 標準規格 Ver.4.2、ハイレゾ再生 ほか ●実用最大出力:9W+9W(4Ω/スピーカー)、35mW+35mW(16Ω/ヘッドホン) ●対応サンプリング周波数/量子化ビット数:768kHz/32bit(PCM)、11.2MHz(DSD) ●対応Bluetoothコーデック:SBC、AAC、aptX、LDAC ●ドライバー型式:52mm アルミコーン・フルレンジ(パステル型) ●再生周波数帯域:90~40,000Hz ●入力端子:USB-B ●出力端子:アナログ音声(ステレオミニ) ●外形寸法:約77W×99H×171Dmm ●質量:右スピーカー/約907g、左スピーカー/約833g



SPEC ●型式:2ウェイ・2スピーカー(バスレフ型) ●再生周波数帯域:50~40,000Hz ●外形寸法:100W×196H×163Dmm ●質量:1.5kg(1本)

KENWOOD "Kseries"

インテグレートッドアンプ

KA-NA9

¥OPEN ▶投票 No.050

Hi-Res Audio

Bluetooth

スピーカーシステム

LS-NA9

¥OPEN ▶投票 No.051

Hi-Res Audio

SPEC ●主な搭載機能:Bluetooth標準規格Ver.4.2、NFC、USB再生 ほか ●再生周波数帯域:50~40,000Hz ●再生出力:10W+10W(4Ω) ●入力端子:microUSB-B×1、USB-A×1、光デジタル音声×1、アナログ音声(ステレオミニ)×1 ●出力端子:アナログ音声(ステレオミニ)×1 ●外形寸法:117W×53H×179Dmm ●質量:0.7kg

スマホの音楽を「K2」を使って ハイレゾクオリティで聴こう

どんな音楽ソースもハイレゾ相当にアップサンプリングして再生する「K2テクノロジー」。JVCケンウッドのこの独自技術を搭載する超小型コンポが「NA9シリーズ」だ。高音質技術を結集した小型コンポは、この秋注目の逸品である。

文/オーディオビジュアル評論家 野村ケンジ 写真/田代法生

超小型でありながら、高音質技術が満載

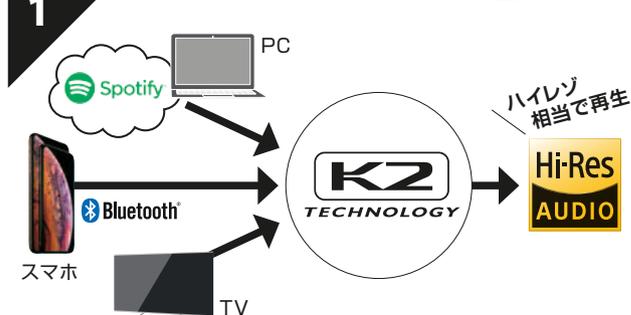
スペースが限定されがちなデスク周りだけに、オーディオ製品も音質よりサイズが優先されがちだ。ただその両方を満たしてくれるのが、ケンウッド「KA-NA9」と「LS-NA9」のコンビだ。音質を重視した「Kseries」のなかでも、ミニマムさと上質な音の両立をアピールする超ミニサイズ・インテグレートッドアンプ「KA-NA9」は、最大192kHz/24bitのハイレゾ音源に対応するほか、独自技術「K2テクノロジー」を搭載。例えば圧縮されてしまうスマホのBluetooth再生であっても良質なサウンドが楽しめるのが特徴だ。いっぽうでPC接続のUSBやテレビで使う光デジタル、DAPなどのアナログ(ステレオミニ端子)入力など、様々なソースを「K2テクノロジー」を使ってハイレゾ相当で再生できる。幅広く活用できるのが特長だ。

これに組み合わせるスピーカー「LS-NA9」もなかなかの魅力を持ち合わせている。幅10cm程のコンパクトさを持ちながらも、高域再生にはリポントウイーターを採用。これにグラスファイバー製振動板を採用する8cmウーファを組み合わせて、良質なサウンドを実現しているのだ。

実際、「KA-NA9」と「LS-NA9」の組み合わせはなかなかのもの。両者のミニマムさからは想像できない、広がり感のあるサウンドが楽しめる。リポントウイーターのおかげもあってか、歌声がとても自然な響きに感じられる。サイズと音質の両面の悩みを解決してくれる魅力的な組み合わせだ。

CHECK

1 様々なソースをハイレゾ相当で!



「KA-NA9」搭載の「K2テクノロジー」はなかなかの優れもの。BluetoothはAACやaptXなどコーデック別に設定が用意されており、オリジナル音源に近い良質なサウンドを楽しむことができる。スマートフォン用アプリでSpotifyなどを再生する際も、大いに役立ってくれる。

CHECK

2 実売4万円前後でリポントウイーター



「LS-NA9」最大の魅力といえば、細やかなニュアンス表現までしっかりと拾い上げてくれ、自然な音色と広がり感のよい音場表現を楽しませてくれるリポントウイーターの採用だろう。このサイズ、この価格のスピーカーでリポントウイーター搭載は希少といえる。



PANASONIC
SC-PMX150
¥OPEN

スマートで便利、楽しさはますます進化中 ハイコンポではじめる 快適音楽ライフ

ハイコンポはひと昔前のもの、と思っていたら大間違い。CDはもちろん、ハイレゾ音源も、音楽配信サービスも、オールマイティに楽しめるのが今のハイコンポ。音質もデザインも使い勝手も進化を遂げたイマドキハイコンポで、新たな音楽ライフをはじめてみませんか？

教えてくれた方
鴻池賢三氏

オーディオレビュー評論家。総合家電アドバイザーの資格を持ち、専門的な執筆からユーザーにわかりやすい解説まで行っている。



“今まで”の音楽も、“これから”の音楽も

好きな音楽を、よりよい音で快適に楽しみたい。今も昔も変わらず、音楽ファンの願いだ。一方、リスニングスタイルに目を向けると、近年はスマホが中心に。各種の配信サービスにアクセスし、ヘッドホンやBluetoothスピーカーを組み合わせて、音楽を手軽に楽しめるように変化した。このように新しく生み出された利便性を活かしつつ、納得の高音質を実現してくれるのがイマドキの「ハイコンポ」だ。従来のCDやラジオに加え、Wi-FiやBluetoothに対応した製品が多く、スマホで楽しんでいる音楽配信サービスも再生可能。さらに、CDを超える情報量を持つハイレゾ音源再生ももはや当たり前。PCを必要とせず、スマホで操作が完結するケースがほとんどで、つまり、ハイコンポがワンセットあれば、快適で高音質なリスニング環境が手に入る。

昔好きだった曲をCDとハイレゾで試聴比較してみたり、音楽配信サービスをBGMにしてみたり、シーンに合わせて使いこなしてみるのも面白い。Bluetoothスピーカーでは物足りないと感じている方こそ、ぜひハイコンポに注目してほしい。

ハイコンポとは？

コンパクトだけど音は本格派

ハイコンポとは、オーディオメーカーがHi-Fiシステムで培った技術やノウハウをコンパクトに凝縮した高品位なコンポーネントシステムのこと。単品コンポーネントの音質コンセプトを引き継ぎつつ、アンプ、チューナー、プレーヤー機能を一体化したり、あるいは高度に連携動作することで、誰もが扱いやすいよう考慮されている。コストやスペースも凝縮され、デザインや機能もトレンドを追い、最先端のライフスタイルにマッチする。



Q. ハイコンポにはどんなスタイルがあるの？

A. カタチは主に4種類。生活スタイルに合わせて選ぼう



プレミアム一体型

アンプやプレーヤー機能に加え、スピーカーも一体化したスタイル。接続や設置で悩む必要がなく、とにかくコンパクトで高音質を楽しみたいというユーザーにおすすめ。デザインや素材感にこだわった製品も多く、オーディオをインテリアとしても楽しみたい、あるいは空間を上質に彩りたいという大人にピッタリのスタイル。

こんな方にぴったり！

- ✓本格サウンドを手軽に味わいたい
- ✓デザインや質感も重視したい

カジュアル一体型

手頃な価格がうれしい一体型。コンパクトボディに多彩な機能を凝縮し、省スペースも魅力。デザインがポップでカラーバリエーションも豊富など。選ぶ楽しさも。音質に関する細かな設定を省き、幅広い世代の誰もが扱いやすい。リビングに設置してファミリーみんなで、あるいは、手軽なパーソナルオーディオとしておすすめ。

こんな方にぴったり！

- ✓とにかく手軽、簡単に楽しみたい
- ✓コストパフォーマンスも重視

セットコンポ

本体とスピーカーは別体ながら、セットで販売されているシステム。オーディオらしいスタイルを求めつつ、コンポーネントの組み合わせに悩まないエントリーユーザーに最適。本体とスピーカーはトータルで音質が吟味されているので、コストパフォーマンスも高い。将来的にスピーカーを交換できる自由度や発展性も魅力。

こんな方にぴったり！

- ✓再生メディアは多い方がいい
- ✓機器選びで迷いたくない

一体型レシーバー

CDプレーヤーとFM/AMチューナー、プリメインアンプがワンボディにまとまった製品のこと。自分でスピーカーを選ばなければいけない反面、好みの音を追求できる。オーディオならではの真髄を味わえる。まずは一体型レシーバーでスタートして、単品コンポの世界にステップアップする方法もある。

こんな方にぴったり！

- ✓自分好みの音質に追い込みたい
- ✓手持ちのスピーカーを活かしたい

Q. 何を楽しめるの？

A. CDや音楽配信、ハイレゾまでオールラウンド

音楽配信ももっと便利に、いい音で聴ける

最新ハイコンポの魅力は、コンパクトなシステムで、幅広い音源を楽しめること。旧来のハイコンポで定番だったCD再生やラジオに加え、Bluetoothでスマホに保存した音楽を手軽に再生したり、ネットワーク機能によりホームネットワーク上の音楽ファイルを再生したりできる製品が増えている。機器によっては、CDの約3~8倍の情報量を誇る「ハイレゾ音源」も楽しめる。

なかでも一番のトレンドは、「Spotify」などの定額音楽配信サービスに対応したモデルが増えていること。選曲や一時停止などの操作はスマホでストレスなく行えるものの、インターネットに繋がって音楽データを受信するのはハイコンポなので、音質面でも有利。代表例はパナソニック「SC-PMX150」で、これらトレンド全部入りのセットコンポだ。



Q. スピーカーはどうやって選んだらいいの？

A. ブランドごとの個性に注目してみよう

スピーカー選びは難しくも楽しい！

オーディオの醍醐味は、コンポーネントを組み合わせで自分が求める「音」を創り上げること。特に音の出口であるスピーカーは、音全体の7～8割を左右するといわれるほどで、製品選びは難しくも最も楽しい部分といえる。品定めの際には試聴が一番だが、無数の組み合わせを全て試すわけにはいかない。そこでおすすめしたいのは、地域やブランドに根ざしたキャラクターを手掛かりにすることだ。一般的な傾向として、ヨーロッパと日本は繊細で質感を重視した低域、アメリカは量感たっぷり迫力重視のサウンドが好まれ、スピーカーの音づくりにも反映されている。スタイルとしては、コンパクトなハイコンボと組み合わせるなら、小型ブックシェルフが好適だ。

スピーカー選びのポイント

音質傾向をチェック！

展示が充実した店舗では、スピーカーとアンプをスイッチ操作で自由に組み合わせで試聴できる環境を整えているケースも。候補のブランドやモデルを絞り込んだら、お気に入りのディスクを手に取り、試聴させてもらおう。



デザインをチェック！

インテリアの一部になるオーディオは見た目も大切。デザインで選ぶのも一案だ。質感は素材や仕上げによってさまざまなので、実物での確認を。薄くスライスした天然木を表面に貼った「突板」やピアノ塗装が主流。



地域によって音の傾向は異なる 世界のスピーカーブランド

ヨーロッパ

十数世紀に渡ってクラシック音楽が育まれた地域柄、耳の肥えた音楽愛好家やオーディオファンが多く、優良なスピーカーブランドが多数存在する。スペックよりも感性に訴える「音楽性」を重視する傾向が強く見られる。

- | | |
|---------------|----------|
| B&W | DALI |
| KEF | DYNAUDIO |
| MONITOR AUDIO | ELAC |
| WHARFEDALE | FOCAL |

日本

近代の電器産業と共に発展し、理論やスペックに根ざした技術志向が特徴。独自素材、ハイテク素材による特性改善にも熱心。最近では「ハイレゾ」に対応する高域の周波数特性向上など、トレンドをキャッチアップ。

- | | |
|---------|-----------|
| DENON | ONKYO |
| ECLIPSE | PANASONIC |
| JVC | PIONEER |
| KENWOOD | SONY |
| KRIPTON | YAMAHA |

アメリカ

長らく、量感のあるゆったりとしたサウンドが好まれてきたが、近年は多様な文化が共存する東西海岸を中心に、理論や技術志向のメーカーが台頭。伝統あるブランドを選ぶか、気鋭のブランドを選ぶかが鍵といえる。

- | | |
|------|-------|
| BOSE | REVEL |
| JBL | |

PICK UP

B&W

マニア垂涎の英国ブランド

マニアなら誰もが一度は手にしたいと思うイギリスの名門。アピーロードスタジオにもモニター用として導入されるなど、華々しい実績も多数。音質は原音忠実志向で、オーディオファンのレファレンスの存在といえる。



「707 S2」
¥150,000(税抜/ペア)

DALI

仕上げの美しさも魅力

1983年に設立されたデンマークのスピーカーブランド。回折を抑えるエンクロージャーの構造と仕上げの美しさ、そしてそのサウンドで評価が高い。ベーシックなOBERONシリーズにも同社の設計理念は生きている。



「OBERON1」
¥57,000(税抜/ペア)

YAMAHA

音楽への情熱に満ちた老舗

世界的な楽器メーカーをルーツに持つ、音楽への情熱に満ちた老舗ブランド。コンパクトなスタジオモニターもブロードの現場で評価が高く、音質傾向としては原音忠実でレファレンス的な性格が強い。



「NS-B330」
¥43,000(税抜/ペア)

KEF

点音源の同軸ドライバー

原音忠実再現を重視し、原音とスピーカー再生音の聴き比べを行う開発スタイルはあまりにも有名。独自の同軸2ウェイドライバーにより、理想的とされる点音源とワイドレンジ化を両立。手の届きやすい価格も魅力。



「Q350」
¥68,000(税抜/ペア)

ONKYO

日本が誇るスペシャリスト

ドライバーを他社にも供給するスピーカーのスペシャリスト。特にオーディオに適した高硬度で内部損失の高い振動板の素材模索と開発が熱心で、ユニークな製品も多数。新しいモノにチャレンジしたい先進ユーザー必聴。



「D-012EXT」
¥OPEN

JBL

劇場用で出発した名門

アメリカを代表する伝統あるブランド。劇場用スピーカーでスタートし、スタジオや家庭でも広く愛されている。また、ジャズバーでも定番中の定番スピーカーで、とかくジャズファンから絶大な支持を集めている。



「STAGE A120」
¥20,000(税抜/ペア)



「AirPlay 2」に世界初対応 音質重視の オールインワン・システム

ネットワークオーディオシステム

Denon
N10 シリーズ



ネットワークCDレシーバー:RCD-N10 ¥57,800(税抜) ▶投票 No.052
スピーカーシステム:SC-N10 ¥17,800(税抜/ペア) ▶投票 No.053

HiRes Audio Bluetooth Wi-Fi CERTIFIED
SPEC <RCD-N10> ●外形寸法:280W×108H×305Dmm
●質量:3.4kg <SC-N10> ●外形寸法:153W×233H×200Dmm
●質量:2.4kg

新しい機能もほしいが、CDなどこれまでのライブラリーもいい音で楽しみたい。そんな方にお勧めしたい万能システムコンボが、デノンCEOL(キオール)「N10シリーズ」だ。今回はサウンドマネージャーの山内氏に、音づくりのポイントを解説いただきつつプロフィールを紹介しよう。 文/編集部

音、機能、デザインの三拍子が揃う

「HEOSテクノロジー」搭載による音楽配信サービスの対応やハイレゾ音源の再生など最先端のネットワーク再生機能に加え、CDやラジオといったレガシーの機能まで、「RCD-N10」は音楽を聴くすべてを1台で実現したオールインワン・コンボ。注目すべきは世界で初めて「AirPlay 2」に対応したことだ。そのことで「Apple Music」の再生や複数機器の同時再生、Siriによるボイスコントロールができるようになった。またテレビの電源と連動する光デジタル入力を搭載するほか、テレビのリモコンでコンボの操作もできるなど、利用範囲は広い。高音質、高性能、美しいデザイン。そのすべてを満たすコスパの高いシステムコンボだ。

☑ CHECK POINT

人気の定額音楽配信に対応



デノンが提案するネットワークオーディオ「HEOS」に対応する。「Spotify」や「AWA」、「Prime Music」などの定額音楽配信を契約すれば、専用アプリから好きな曲を自由に再生できる。

From Sound Manager

デノン・サウンドマネージャー
山内慎一氏に伺った



「N10シリーズの音」

聴き疲れしない自然なサウンド

「RCD-N10」は、高評価をいただいた前機種「RCD-N9」のデザインをベースに音質をグレードアップしています。特に特性の向上やパーツを吟味したことで、より「フルデジタル」を生かした音質チューニングに進化できました。また「SC-N10」に採用するスピーカーユニットも歪を低減。サウンドステージもよりスムーズに広がるのを感じていただけます。一方、「N10シリーズ」はシステム製品のため、全体としては性能のみならずバランスのよい聴き疲れしないナチュラルなサウンドも追求しました。RCD-N10に搭載する「スピーカー最適化フィルター」は、かなり細かい部分まで追い込んだことにより、音楽全体のニュアンスをうまく調整できました。さらにヘッドホン出力の音質も向上させていますので、ぜひご試聴ください。

スピーカーシステム

B&W

707 S2

¥157,000

(税抜/ピアノブラック)

¥150,000

(税抜/ローズナット)

▶投票 No.054

色褪せないサウンド、デザインを持つ プレミアムコンポ

高機能、高音質、デザイン性を備えたプレミアムコンポ。
発売して3年経った今もお売れ続ける理由を、
オーディオ評論家の生形三郎が解説しよう。

文/オーディオ評論家 生形三郎 写真/広井一成

ほしい機能をすべて搭載する

「M-CR611」は、マランツがHi-Fiオーディオ設計で培った高音質技術を凝縮した、コンパクトなベストセラー・ネットワークCDレシーバーだ。まずは、各所にアールを持たせた優美なフォルム、4色の間接光で心地よく空間を演出するイルミネーションなど、高級感を纏う意匠が目を惹く。同時に、徹底的なチューニングとカスタムパーツを多用して高音質を追求。同じく人気を博した先代モデル「M-CR610」から、大幅な音質向上が実現されている。そして、ベストセラー最大の秘訣は、なんといってもそのコンパクトな筐体に秘められた多彩な機能性だろう。CD、FM、有線/無線ネットワーク再生、AirPlayやBluetooth接続、Spotify Connectへの対応など、まさに全方位に対応する充実のマルチコネクタ仕様となっている。さらにその上で、バイアンプ機能を備え、マニアをも納得させるスピーカー駆動力を有する。

そのサウンドは、繊細かつ瑞々しい音色表現と、クリアで高解像度な描写力を併せ持ったもの。低域にはたっぷりとした量感と深い沈み込みを持ち、余韻が豊かで開放感に溢れる。実に心地がよい音だ。まさに、音よし、デザインよし、機能性よしと、3拍子揃った鉄板の名作コンポなのである。

ネットワークCDレシーバー

MARANTZ

M-CR611

¥70,000(税抜)

▶投票 No.055



SPEC ●主な搭載機能:Bluetooth標準規格Ver.2.1+EDR、NFC、CD、LAN、Wi-Fi、USB再生、AM/FMチューナー(ワイドFM対応) ●定格出力:50W+50W(6Ω) ●最大対応サンプリング周波数/量子化ビット数:192kHz/24bit(PCM)、2.8MHz(DSD) ●入力端子:光デジタル音声×2、アナログ音声(RCA)×1 ●出力端子:アナログ音声(RCA)×1、サブウーファース×1、ステレオミニ×1 ●外形寸法:292W×105H×305Dmm ●質量:3.4kg



シルバー・ゴールド



ブラック

Hi-Fi機能に注目



4chアンプ接続



マルチドライブ接続

アンプを4ch搭載し、高域用と低域用とをわけて駆動させる「バイアンプ接続」に対応。Hi-Fi用スピーカーもしっかりと鳴らす設計を採用している。

こちらのスピーカーもお薦め

DALI
OBERON 1

¥57,000(税抜/ベア) ▶投票 No.056

ヒットシリーズ「ZENSOR」の後継スピーカー。カラーは写真のライトオークを含む4色展開。



イタリア生まれの

真空管アンプの雄、フルモデルチェンジ

イタリア・ナポリ生まれのコンパクト・オーディオブランド「Carot One (キャロット・ワン)」。
目にも鮮やかなオレンジ色の筐体で2010年の登場以来、小型アンプブランドとして確固たる地位を確立した。
今回はフルモデルチェンジを果たしたプリメインアンプ「ERNESTOLO 50k EX」の魅力を解説しよう。

文/野村ケンジ 写真/阿部良寛

レファレンス・スピーカー ¥87,000 (税抜/ペア) ▶投票 No.057

ELAC

BS302

SPEC ●型式:2WAY同軸(密閉型) ●ユニット:20mmシルクドーム・トウイーター×1、178×108mmASオーバル・ウーファー×1 ●インピーダンス:4Ω ●再生周波数帯域:80~35,000Hz ●外形寸法:91W×121H×122Dmm ●質量:1.3kg



サウンド、デザイン、サイズ、すべてが新しい

イタリア、ナポリで誕生したオーディオブランド「Carot One」。そのファーストモデルである真空管プリメインアンプ「ERNESTOLO(エルネストロ)」を初めて聴いたとき、大きな衝撃を受けたことを今でも覚えている。10cm四方(幅にいたっては7cmもない)という本格派としては格段のミニマムサイズを誇るボディサイズからは想像できない、本格派スピーカーを堂々と鳴らしきる駆動力の高さと、表情豊かな活き活きとしたサウンドを聴かせてくれたのだ。その実力の高さは当時大いに評判を呼び、一躍人気モデルとなったのは記憶に新しいところだ。

そんな「ERNESTOLO」が、第2世代へと大きく進化した。それがプリメインアンプ兼ヘッドホンアンプの「ERNESTOLO 50k EX」だ。プリメインアンプ部に真空管、パワーアンプ部にソリッドステートを採用し、各部をセパレートして配置する基本コンセプトは変わらず、配置場所を大きく変更。底部にプリメインアンプ部を、その上部後方(真空管の奥側)にパワーアンプ部をレイアウトすることで、「Carot One」ならではのミニマムサイズと25W×2ch(4Ω)という十分なアンプ出力を両立。音質面のさらなる改良を推し進めている。同時に、アルミ削り出しボディや真空管を保護する目的のガラスブロックなども新採用し、先代より格段にグレードアップした上質感溢れる外観も得ている。

さらに、日本専用の「EX」仕様として、プリメイン部の真空管にはJJ製「ECC 802 S GOLD」を、オペアンプは定評のあるバーブラウン製「OPA 2604 AP」などを採用し、音質面でのさらなるグレードアップがなされている。なお、入力端子は背面のRCA端子に加えて、前面に3.5mmステレオミニ端子も用意されているので、ポータブルプレーヤーなどを気軽に接続することが可能だ。

さて、肝心のサウンドはというと、伝統というべきフロア型スピーカーをしっかりと鳴らす駆動力の高さは健在のまま、さらに解像感が高まり歪み感も低減されて、とてもクリアなサウンドを聴かせてくれるようになった。特に、表現のきめ細やかさが向上したおかげで、ボーカルが一段とリアルに感じられるようになった点は嬉しい。先代の特徴だった熱気感溢れるサウンドはやや影を潜め、少しばかり優等性な音色傾向となったが、そのおかげもあってボーカルやアコースティック楽器などがいちだんと表情豊かな、心地よい響きのサウンドを聴かせてくれるようになった。これはいい。

設置性で高い自由度を誇るミニマムサイズと、真空管を巧みに使いこなした心地よいサウンドが両立された、とても魅力的な製品だ。

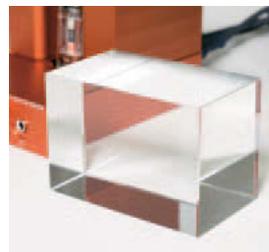
設置性で高い自由度を誇るミニマムサイズと、真空管を巧みに使いこなした心地よいサウンドが両立された、とても魅力的な製品だ。

新しいポイントはこちら!



日本だけの特別仕様

日本モデルは本国モデルとは異なり、金メッキ処理が施されたJJ製真空管「ECC 802 S GOLD」と音質に定評のあるオペアンプ「OPA 2604 AP」を搭載。輸入元であるユキムにより、左右のバイアス調整とサウンドチェックが行われて出荷される。



大型ガラスブロック採用

新世代機のデザインテーマは「リニア・シェイプ」。曲線のない直方体形状を採用している。正面に搭載した大型のガラスブロックは、真空管の保護の役割を持つと同時にコンセプトを象徴するものでもある。



野村ケンジの

使いこなすテクニク

DAPを使いこなそう!

リアルで心地よい音を堪能できる本機には、ハイレゾ音源がピッタリ。実際、周波数特性も15Hz~100kHz(-1dB)とハイレゾ音源にもしっかり対応できているので安心だ。ハイレゾ対応DAPをフロントパネルのステレオミニ端子や背面のRCA端子に接続して良質なサウンドを存分に楽しもう。また、Bluetooth接続であっても心地よい音を堪能できるのも魅力だ。ソニーのウォークマン「NW-ZX300」などBluetoothレシーバー機能を持つハイレゾ対応DAPを使えば、手軽にスマートフォン内アプリや楽曲を楽しむことができる。手軽にいい音を楽しむ方法としてお薦めだ。



NW-ZX300との相性は野村氏も太鼓判を押す。ただし、ZX300のBluetoothレシーバー機能は、2018年秋対応予定なので注意してほしい。

プリメインアンプ

Carot One

ERNESTOLO 50k EX

¥75,000(税抜) ▶投票 No.058

SPEC ●スピーカー出力:25W+25W(4Ω) ●ヘッドホン出力:600mW/チャンネル 32Ω ●入力端子:アナログ音声(RCA/ステレオミニ) ●出力端子:アナログ音声(ステレオミニ) ●外形寸法:76W×75H×150Dmm ●質量:1.1kg

カセットテープには
思い出がいっぱい

アナログを録音して
楽しんでいたあの頃



1970年代から80年代にかけて、アナログレコードを購入するとすぐにカセットテープにダビングして楽しむオーディオファンが多かった。また、当時はFMラジオが人気を博し、エアチェックと呼ばれる番組の録音が当たり前のように行われていた。ラジオでは一回しか放送されない貴重な音源も多く、まさに一期一会だった。

自然音や音楽会の生録に
夢中になったあの頃

オープンリールデッキやカセットデッキを外に持ち出し、アマチュアの音楽会や自然音を録音する“生録”ブームが起きた。オーディオ評論家の林正儀氏も生録に夢中になったひとり。高校教師だった時代には教え子の合唱やF1の生録に挑戦。その音源は、世界にひとつしかない宝物なのだ。



僕らを虜にした

カセットテープをもう一度

昭和を生きてきた方なら、カセットテープに熱狂した記憶はないだろうか。青春を彩ったさまざまな音楽体験が詰まったカセットテープ。いま一度聴いてみれば、あの頃の甘酸っぱい記憶、ドキドキが蘇ってくるはずだ。

文/林正儀

AVメーカー勤務、技術系高校教師などの経歴を持つオーディオ評論家。



林氏愛用のカセットデッキ、ソニーの「TC-K555ESX」。

思い出が詰まったお宝テープを聴こう

カセットテープ世代のあなた。昔録音したカセットテープが押入れに眠ったままになっていないだろうか。FM放送のエアチェック、自然音の生録、アナログレコード盤のダビングなど、自分だけしか持っていない貴重な音源もあるのではないだろうか。それらを再度聴いてみようというのが、ここでの提案だ。

個人的な話になるが、FMの海外オーケストラの来日ライブ放送をエアチェックしたことが思い出される。再放送なしの一発オンエア。録り逃がしてはならないと「C-90」(往復90分)などの長尺テープを用意したり、並行してオープンリールデッキを走らせたりしたことが懐かしい。生録では、アマチュア音楽仲間の発表会や野鳥の鳴き声、自然音を収録しに行った。一番力が入ったのは、富士スピードウェイでのF1の生録だった。

そんなお宝テープだが、最近またラジカセが発売されているから安心だ。近頃のラジカセは聴くだけでなく、SDカードやUSBメモリーなどにデ

ジタルアーカイブできる機種もある。たとえば、43ページで紹介しているAurexの「TY-AK1」が代表モデルだ。マクセルの人気カセットテープ「UD」の再生産もはじまり、カセットテープが再びブームになりつつあるいまこそ、僕らを虜にしたカセットテープをもう一度楽しんでみよう!

カセットテープをデジタル化

貴重なカセットテープの音源を、USBメモリーやSDカードなどに録音できるラジカセも登場している。この機会にデジタル化して永久保存してみたいかだろうか?



CHECK

昔のカセット青年が体感! あの頃と同じ音・操作感到感激

伝統のブランド、Aurex(オーレックス)の最新CDラジカセ「TY-AK1」は、カセットテープなどの音源をハイレゾ相当で楽しめる、遊び心にあふれるアイテム。その音質や使い勝手を、カメラマンの川村容一氏が昔録音したカセットテープで試した。

文/川村容一

ハイレゾ対応CDラジカセ

Aurex TY-AK1

¥OPEN

▶投票 No.059

Hi-Res
AUDIO

SPEC ●外形寸法:350W×126H
×218Dmm ●質量:約3.0kg

カセットテープはもちろん、CD、ラジオ、SDカード、USBメモリーなどの幅広い音源の再生に対応。また、USBメモリーやSDカードに保存したハイレゾ音源(192kHz/24bitまで、FLAC/WAV)の再生も可能。最大の特徴は、多彩な音源を手軽にハイレゾクオリティへと拡張する「アップコンバート」機能を搭載したこと。これにより、CDやMP3、ラジオ、カセットテープまで、ハイレゾ相当の音質で楽しめる。



川村容一

フリーカメラマンとして各種写真撮影に従事。趣味はオーディオで、かつてはアナログレコードの録音、NHK-FMのエアチェックなどにカセットテープを利用していた元「カセットテープ青年」。

カセットをハイレゾクオリティで持ち出せる

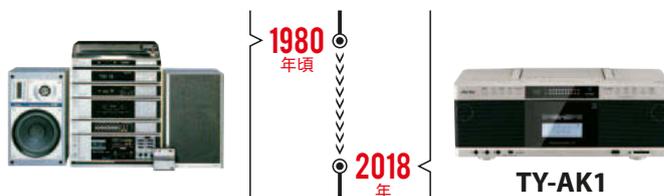
東芝のオーディオブランド「Aurex」といえば、私たち60歳代にとっては憧れのブランド。かつては独自のノイズリダクション技術「adres(アドレス)」を開発したこともあり、その音響技術は折り紙付き。そんなAurexの最新ハイレゾ対応ラジカセ「TY-AK1」を試す機会に恵まれたので、そのレポートをお届けしたい。

まず、パッと見た瞬間、フロントにあるレベルメーターに心をくすぐられた。レベルメーターの点滅を見ていると、音楽を再生しているという喜びが味わえるからだ。また、音質にこだわるオーディオファンによく使われていたハイポジションテープを再生できるのも心の琴線に触れた。

今回、35年以上前のカセットテープを実際に聴いてみたが、アナログレコードをワクワクしながらダビングした時の記憶が蘇った。新たに開発されたハイレゾ対応ツイーターとウーファの恩恵もあるのだろう。コンパクトなサイズながら、自然でバランスのよいサウンドが楽しむことができた。そして何より、さまざまな音源をハイレゾクオリティにアップコンバートできる機能に惹かれた。思い出のカセットテープの音源を、USBカードやSDカードにデジタルアーカイブし、最新のハイレゾ音源と同じように外に持ち出して楽しめる。さらには、ハイレゾをこれから楽しみたい方にとっては、ハイレゾ入門にもうってつけだろう。さまざまな使いこなしができるこの一台の魅力をぜひ皆さんも味わってほしい。

リスコンのクオリティを一台で実現

POINT 1



1970年代から80年代にかけてシステム・コンポで一世を風靡したAurex。当時は大型のシステムが大半だったが、技術の進歩により、「TY-AK1」はアンプやスピーカーを一体化したコンパクトボディを実現。それでいてハイパワー&ハイクオリティ。カセットテープやCD、それを超える情報量を持ったハイレゾ音源も、圧縮されたMP3のデータからも、クオリティを最大限に引き出せる。

当時と同じ使い勝手で安心

POINT 2



音圧に応じて点滅するレベルメーター



「ノーマル」と「ハイポジション」を切り替えるスイッチ

かつてのラジカセと同様の使い勝手を再現しているのもポイント。たとえばレベルメーター。音圧レベルが目に見え、音楽が再生されているという安心感がある。また、再生できるテープは、ノーマル(Type I)のほか、フロント部にあるスイッチを切り替えることにより、ハイポジション(Type II)の再生にも対応。メタル(Type IV)もカセットに開けられた識別用の穴をふさぐことで再生できる。

Panasonic

大人の時間が、流れています。
(駒井 蓮)

あなたがはじめて出会う、ひとつ上のサウンド体験を。

- USB-DAC機能搭載。ハイレゾをもっと手軽に楽しめる
- ハイレゾ音源を余す所なく再生するビュアオーディオ設計
- ワイヤレス伝送に対応。多彩な音源を高音質で満喫できる

CDステレオシステム SC-PMX150
PMX150

☆オープン価格

☆オープン価格商品の価格は、販売店にお問い合わせください。●パナソニックは日本オーディオ協会のハイレゾ定義に準拠した製品にハイレゾロゴを冠して推奨しています。ロゴは登録商標です。●ご購入の際は、必ず「保証書」の記入事項をご確認のうえ、大切に保管してください。●ご使用の際は、必ず「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。



ハイレゾは、パナソニック。



音楽ファンのためのレコード再入門

特別編集
フリーマガジン

¥0 TAKE
FREE

Analog Record *Style* Vol. 05

[アナログレコードスタイル]



やっぱりいいね、 レコードのある暮らし

厳選プレーヤー&カートリッジ／いまさら聞けない基礎知識

Analog Record Style

[アナログレコードスタイル]

Vol. 05

いま、なぜレコードなのでしょう？

音楽をなんとなく聴くだけなら、

スマホで楽しんだ方が、ずっと便利です。

でも、お気に入りのアーティストのジャケットを片手に

レコードに針を落として、ゆったりと音楽と向き合う時間、

家族や友人と感動を共有して語らう時間、

それは忙しい毎日過ごす現代人にとって、プレースレス。

ライフスタイルを豊かに彩るツールとして

レコードに新しい価値が生まれています。

昔ながらのジャズ喫茶だけでなく、

最先端のファッションの現場でも、おしゃれなカフェでも、

音楽を聴くツールに選ばれるのは、いつもレコードです。

もちろんアナログの音ならではの心地よさも人気の秘密。

さあ、レコードのある暮らしを、

みなさんも一緒にはじめてみませんか？



Contents

- 03 Introduction「レコードはやっぱり楽しい!」
- 04 オーディオテクニカとはじめるレコードライフ
- 06 基礎「レコードってどんなもの?」
- 07 基礎「レコード再生に必要な機器」
- 08 基礎「ターンテーブルを知ろう」
- 10 基礎「セッティングの基本」
- 12 厳選レコードプレーヤー
- 14 オルトフォンの高音質カートリッジ
- 16 厳選アクセサリガイド

**PREMIUM
COMPACT AUDIO
GUIDE** 特別編集フリーマガジン



最新アナログレコード情報も掲載
オーディオ・ビジュアル/カセットのポータルサイト
「ファイルウェブ」毎日更新中
<http://www.phileweb.com/>

企画・編集/株式会社音元出版 SP DIVISION ☎03-3255-4471
〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-9 第七東ビル8階
デザイン/赤石澤宏隆(STAND) 製版/コスモグラフィック
表紙撮影/広井一成 印刷/大日本印刷

Introduction

—イントロダクション—

レコードがあると 毎日が豊かになる

レコードとキャンプの出会い

レコードの楽しさは、何もマニアだけの占有物じゃない！

そんなことを自然体で教えてくれるのが、東京・調布市で素敵なセレクトショップ「キャンピック」を営む店主、菅澤さんだ。

毎日に遊びゴコロをプラスしてくれる、イン&アウトドアスタイルなアイテムが集まる店内には、見たこともないラベルのクラフトビールや、触れる人を笑顔にしてくれるユニークなキャンプ用品で賑やかに溢れ返っている。

そのなかに、レコードがある。インテリアとして、店内を色とりどりのレコードジャケットが彩り、心地よい音楽がショッピングを包みこむ。

アナログだから、いつもよりちょっと手がかかる。だけど、それがキッカケになって、趣味としての真剣さや、新しい出会いや交流が生まれる。それはキャンプも同じ。「レコードとキャンプって、全く違う世界のように、実は繋がっているところがあると思いますよ」と菅澤さん。

暮らしを豊かに楽しむ人たちがこぞって選ぶレコードのあるライフスタイル。ぜひ、気軽にその世界にチャレンジしてみたいかがだろうか？



様々なラベルがあるのも、クラフトビールとレコードの共通点だ。どっちもやっぱりジャケ買いが楽しい？！



左／店内1F。自分で組み立てるレコードプレーヤー「SPINBOX」はモバイルバッテリーでも動くのでアウトドアのお供になる。右／店内2F。キャンプ用品が並ぶ、楽しい空間。



店主の菅澤さん。「お聴きになりたいレコードを片手にお気軽にお越しください」とのこと。カフェ&Barスペースも併設されており、ランチタイムは「野外で食べたいアメリカンフード」、ディナータイムはBarスタイルで、アメリカ各地の珍しいクラフトビールを提供している。

Campick stand&factory (キャンピック スタンド&ファクトリー)

〒182-0007 東京都調布市菊野台1-20-1

TEL:042-445-0952

<http://www.campick.org>

平日 12:00-17:00 ランチタイム

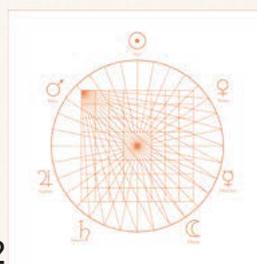
平日 ディナー 19:00-23:00 (ラストオーダー)

check ▶ 新作も旧譜も続々リリース！

もちろん音楽配信サービスに比べれば、楽曲数は少ない。しかしレコードの生産枚数もまた右肩上がり、日本人アーティストの新譜から懐かしい名盤まで、続々とリリースされている。さらに「レコードの日(11月3日)」や「レコード・ストア・デイ(4月第三土曜日)」等のイベントに合わせ、多くの作品がリリース/販売されている。ぜひチェックしてほしい。



1



2



3

1.宇多田ヒカル／「初恋」[生産限定アナログ盤] ソニーミュージック ¥4,630(税抜)

2.フィッシュマンズ／「Night Cruising 2018」ユニバーサル ミュージック合同会社 ¥2,000(税抜)

3.久石譲／「風の谷のナウシカ シンフォニー編 風の伝説」徳間ジャパンコミュニケーションズ ¥4,400(税抜)

スタイルに合わせて選べる、オーディオテクニカのレコードプレーヤー もっと自由に、音楽に

アナログならではの音で、ゆとりのある毎日を

レコード&アナログ復権が叫ばれて久しいが、その大半を占めるのが、かつて70年代のオーディオブームにレコードを聴いて楽しんだシニア世代だ。あるいはリターン層だけでなく、レコードは初めてというビギナーも相当数いるだろう。そんな人たちがレコード鑑賞に使うのは、高級機ではなく、オーソドックスでシンプルなプレーヤーがいい。カートリッジ開発で創業し、今日まで50年以上に渡ってハード面からレコード文化を支えてきたオーディオテクニカには、多彩なレコードプレーヤーのラインアップが揃っている。

たとえば「AT-PL300BT」は、レコードの音をワイヤレス伝送で聴けるBluetooth機能を内蔵していることがセールスポイント。普段愛用している

ワイヤレススピーカーやヘッドホンで気軽にレコードが楽しめる。基本設計はフルオート方式なので、レコード再生の作法を詳しく知らなくても安心だ(レコードを載せてSTARTボタンを押すだけで再生が開始される)。

実際に手持ちのワイヤレススピーカーに音声を飛ばしてAT-PL300BTを試聴してみた。ヘアリングが完了すると、温かみのあるアナログサウンドがワイヤレスで再生される。古い感覚からすれば、ケーブル接続なしでこれほどいい音が聴けることに、ちょっとした感動すら覚えることだろう。

あれこれ欲が出てきた時にグレードアップもできる、趣味性を備えたベーシックモデルを選ぶなら「AT-LP5」がおすすめ。フォノイコライザーを内蔵

PHONO内蔵 | レコー | ド | プ | レ | ー | ヤ | ー |

AUDIO-TECHNICA AT-PL300BT

¥OPEN ▶投票 No.100 Bluetooth搭載 PHONO内蔵 フルオート再生

SPEC ●駆動方式: ベルトドライブ ●回転数: 33-1/3または45回転/分 ●接続端子: アナログ音声出力 (LR) ●外形寸法: 360W×97H×356Dmm ●質量: 約3kg

ワイヤレスで もっと手軽に



AT-PL300BT
セットアップ方法の
動画はこちら



ホワイト

ネイビー

フルオート再生ができて、フォノイコライザーも内蔵。さらにお手持ちのBluetoothスピーカーやヘッドホンに、ワイヤレスで音を飛ばせる。いちばん気軽にアナログサウンドを楽しみたいなら本機で決まり!



向き合う

レコード文化を牽引するオーディオテクニカ。
そのロゴマークは「レコードと再生針」を表していることをご存知だろうか？
ゆったりと音楽を楽しむ時間、それを貴方らしく、
自由なスタイルで実現できるようにBluetoothヘッドホンやスピーカーと
ワイヤレス接続できる入門機からカートリッジ交換で音を好みに
カスタマイズできる本格派まで、多彩なプレーヤーをラインアップしている。

文／オーディオビジュアル評論家 小原由夫

し、オリジナルのVM型カートリッジが付属しているので、すぐにレコード再生がはじめる。しかもアクセサリ交換で音質向上が図れるのがミソ。カートリッジを交換してもいいし、スタビライザーを併用してもいいだろう。ターンテーブルはダイレクトドライブ方式で、正確な回転精度を実現。USB端子を装備しており、周辺機器を準備すればレコードの音をデータ化してPCに取り込むこともできる。搭載されたJ字型トーンアームも操作しやすく、初心者にもやさしい設計だ。

私は今回、内蔵フォノイコライザーをオンにして、AT-LP5を自宅システムに組み込んで試聴してみた。瑞々しく、しなやかなサウンド。周波数レンジに

も不満なく、ベースはよく弾み、ボーカルはしっかりとした骨格を抱かせる。質感再現もよく、なかなか本格的なサウンドというのが実感だ。

レコードのある音楽生活がもたらしてくれる要件とは、「ゆとり」に他ならない。レコードをプレーヤーに載せてトーンアームを操作し、針を降ろす。この一連の動作を経ることで、「さあ、レコードで音楽を聴くぞ」という気分が次第に盛り上がる。操作がフルオート式であっても、CDやファイル再生のような瞬時性がなくても、じっくり音楽と向かい合って楽しむことができる。LPジャケットを眺めながら聴いてもいいだろう。ミュージックラヴァーにぴったりの鑑賞スタイルだ。

PHONO内蔵 | レコー | ド | プ | レー | ヤー |

AUDIO-TECHNICA AT-LP5

¥OPEN ▶投票 No.101 PHONO内蔵 PCへの録音

SPEC ●駆動方式：ダイレクトドライブ ●回転数：33-1/3または45回転/分 ●接続端子：アナログ音声出力（LR）、USB ●外形寸法：450W×157H×352Dmm ●質量：8.5kg

レコード音源と 向きあう



AT-LP5
セットアップ方法の
動画はこちら



安定感のあるダイレクトドライブ方式で、独自のVM型ステレオカートリッジ「AT95EX」を付属。レコードの音源をPCにアーカイブする機能も備える。パーツ交換でグレードアップもできる趣味性の高い本格派の1台！



PHONO内蔵 |
レコー | ド | プ | レー | ヤー |

AUDIO-TECHNICA AT-LP7

¥OPEN ▶投票 No.102



AT-LP7
セットアップ方法の
動画はこちら



こちらも
お薦め！

SPEC ●駆動方式：ベルトドライブ ●回転数：33-1/3または45回転/分 ●接続端子：アナログ音声（LR） ●外形寸法：450W×157H×352Dmm ●質量：8.3kg（ダストカバー除く）

接合楕円針VM型カートリッジ「VM520EB」や高品位なフォノイコライザーを標準装備。Hi-Fiサウンドを追求したベルトドライブ方式のターンテーブル。高さ調整機構も備えているので、カートリッジ交換も可能だ。

Basic knowledge

「レコード」って

レコードってどのように録音しているの？
そんなレコードから音が再生する仕組みから、
現在流通されるレコードの種類までご紹介しよう。

どんなもの？

文／編集部 図版／コスモグラフィック

主なレコードの種類

大きさも材質も異なる

古くは様々な種類のレコード盤があったが、現在主流なのは12インチのLP (Long Play) 盤だ。初期にあったSP盤は割れやすい樹脂を素材に使用していたが、LPではポリ塩化ビニールになったことで丈夫になり、扱いやすくなった。一方、ドーナツ盤とも呼ばれるシングル・レコードも根強い人気がある。中央に大きな穴が空いているが、もともとはオートチェンジャー用に開発されたものだという。

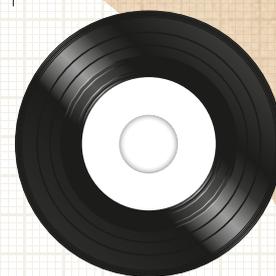
LP盤

12インチ (30cm)

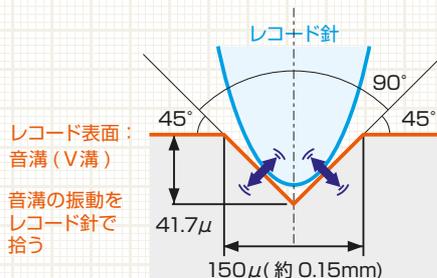


ドーナツ盤

7インチ (17cm)

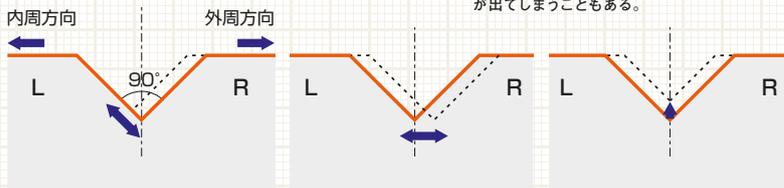


音が再生される仕組み



◀ 私たちは空気の振動を音として認識する。レコードはその振動を記録しているメディアだ。よく見ると同心円状に「音溝」と呼ばれる細い溝が掘り込まれているが、そこに振動の情報があり、レコード針を細かく震わせることで電気信号に変換。アンプ、スピーカーを通して再び音として再生しているのだ。

お互いに直角 (90°) 振動なので Lch と Rch を干渉なく拾い出せる



▼ レコード盤に対して、溝を左右斜め45度ずつにわけてカッティングして、LRchを記録する「45/45方式」がステレオ録音の一般的な手法。溝の掘り方で針の振動も異なる。たとえば溝を細くすれば長時間録音できるが、その分振動が小さくなる。つまり音量が小さくなるなどの影響が出てしまうこともある。



右側のみ



左右同位相



左右逆位相

「レコード再生」に必要な機器

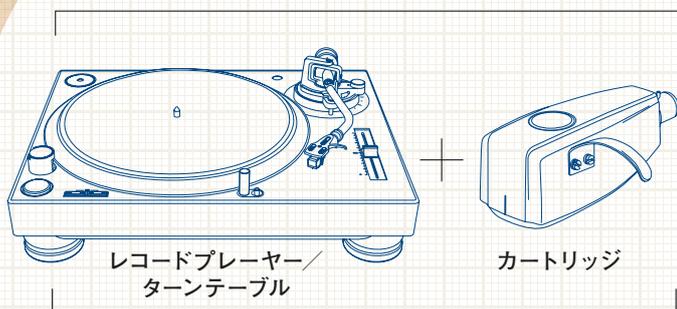
レコードプレーヤー／ターンテーブルだけでは、レコードから音を再生することはできない。ここでは必要になる機器をチャートで説明しよう。

文／編集部 図版／コスモグラフィック

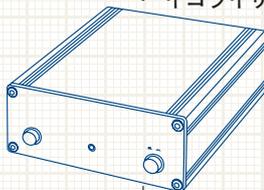
接続例

すべてを
一体化した
モデルもある！

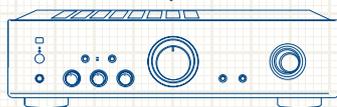
一体型ターンテーブル



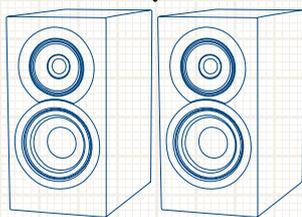
フォノ
イコライザー



アクティブスピーカーや
システムステレオでも
代用できる！



プリメインアンプ



スピーカー

こだわるほどに音がよくなる

「レコードプレーヤー／ターンテーブル」を購入しただけでは、レコードは再生できない。レコードの振動を電気（音声）信号に変換する「カートリッジ」。その音声信号を正しい音のバランスに整える「フォノイコライザー」。電気信号をスピーカーが駆動できるくらいまで増幅させる「プリメインアンプ」。そして空気を振動させて再び音にする「スピーカー」。これらすべてが整って初めて音楽として楽しめるのだ。やや細かく分類して説明したが、実は近年のオーディオ機器は一体化されているモデルも多く、自分が所有している機器と比較して、足りないものだけ購入すればよい。例えば、システムステレオをお持ちの方なら、アンプとスピーカーはすでにあるので、左図の上の方だけあればよいことになる。その際、カートリッジやフォノイコライザーを内蔵しているレコードプレーヤーを選べば、簡単にレコードをはじめられるのだ。

一方、音質にこだわるなら、各種機器のグレードにもこだわりたい。特にカートリッジは音の源流にあたるパーツで、このピックアップ精度が低いと録音されていた情報を正しく伝えることができず、音質低下につながってしまうのだ。小さなパーツだが、プレーヤーとの相性もあるなど、奥が深い。交換するならまずここからはじめてみよう。

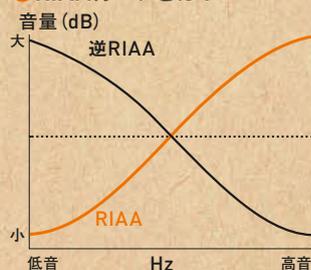
Column

フォノイコライザーの役割とは？

正しく録音されていないレコードの音を補正する

溝を掘るがゆえにレコードには物理的な制約がある。一例を挙げると低音から高音まで幅広く録音しようとする、音満同士の間にズレが生じ、安定した記録ができなくなるのだ。そこでレコードでは、低音を減衰させて高音を強調させた状態（RIAAカーブ）で録音し、再生する際に逆RIAAカーブの補正をかけてバランスを取るのだ。この役割を担っているのがフォノイコライザーである。

●RIAAカーブとは？



Basic knowledge

「ターンテーブル」を知ろう!

レコードの再生方法がわからない! そんな人のためのターンテーブル入門。
実は針ひとつ交換するだけでレコードの音質は変わるほど、繊細で奥深いのだ。
ここでは、ターンテーブルの各種パーツの役割や特長を解説しよう!

文/編集部 図版/コスモグラフィック

ターンテーブル

□ 回転スピード切り替え

レコードにも何種類もあり、その大きさによって推奨の回転数が決まっている。主に使うのは、LP盤を再生する33・1/3回転と、EP盤を再生する45回転だ。

□ プラッター

レコードを載せる盤面を「プラッター」という。その盤を回転させる方式にも種類があり、モーター駆動と直結している「ダイレクトドライブ」や、ベルトを介して回転させる「ベルトドライブ」がある。

□ リフター

レコード盤の上に針を移動させるために、トーンアームを浮かせる機構。針を落とす時も、このリフターを使う。

□ トーンアーム

右ページへ!

□ ヘッドシェル/カートリッジ

右ページへ!

ピッチアジャスト

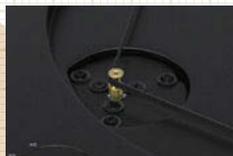
ターンテーブルの回転速度を調整できる機構が「ピッチアジャスト」だ。回転ムラが起きずにピッチを調節できる。

得意分野が異なる2種類の回転方法

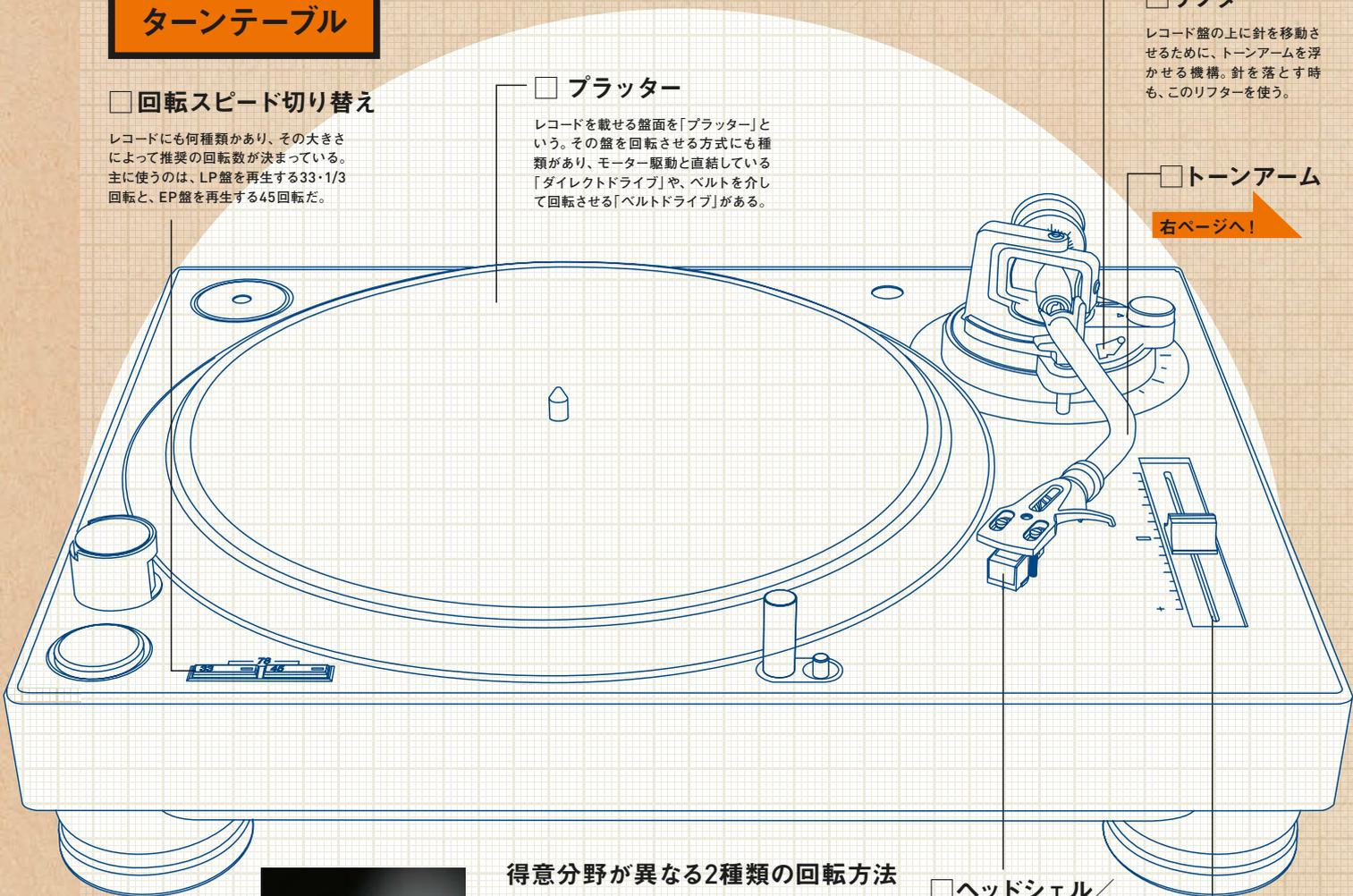
ターンテーブルを語る上で欠かせないのが、プラッターの駆動方式だ。大きくわけて2つあり、1つはプラッターの軸をモーターの回転軸と固定させた「ダイレクトドライブ方式」だ。プラッターをより正確に回転させられるのがメリットで、スクラッチするならこちら。もう1つがベルトを使って軸を回転させる「ベルトドライブ方式」だ。ダイレクトドライブと比較して、モーターの騒音を受けにくいメリットがあるが、正確に回転させるには高い技術力が必要だ。



ダイレクトドライブ



ベルトドライブ



ヘッドシェル／カートリッジ

レコード針

レコードの溝から音を拾う針先と、その振動を伝える「カンチレバー」、「ダンパー」で構成される。針の金属素材や、ダンパーの機構などで音質が変わる。

ヘッドシェル

カートリッジとレコード針とを接続するためのパーツ。トーンアームと一体型となっているモデルもある。

カンチレバー

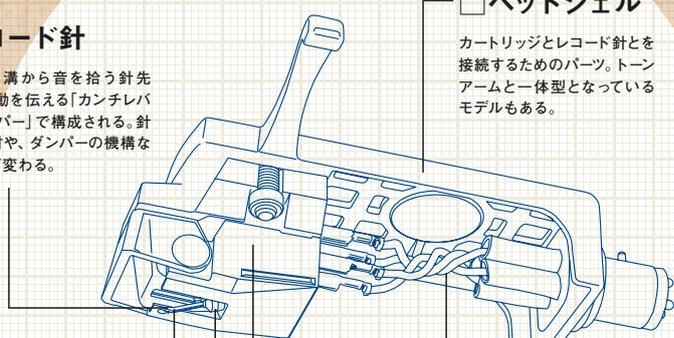
ダンパー

カートリッジ

レコード針で受け取った音の振動を電気信号に変換するパーツ。レコード再生で重要な部分で、扱いやすく普及機に多いMM型と、ハイエンドモデルなどに採用例が多いMC型などの種類がある。

リード線

カートリッジとヘッドシェルとをつなぐ結線のこと。白、赤、青、緑の4色で線がわかれている。



「カートリッジ」は音質を決めるカギ

ターンテーブルの音質には様々なパーツが影響するが、一番影響を受けるのが「カートリッジ」だ。これはレコードの音溝から拾った振動を電気信号に変換するパーツで、この発電方法の違いで音質差が生じる。その一方で、モデルによってレコードにかけられる圧力（針圧）の大きさが異なるので注意が必要だ。リスニング用は比較的細くて繊細なため、スクラッチなどすると針が曲がりたり折れたりしてしまう。逆にDJ用を謳うカートリッジは針圧が高く頑丈だ。

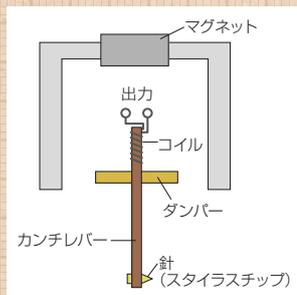


オーディオ用カートリッジ



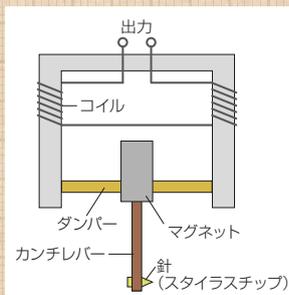
DJ用ヘッドシェル／カートリッジ

カートリッジの種類



MC (Moving Coil) 型

固定されたマグネットの近くで、カンチレバーの根元に巻きつけたコイルを振動させることで出力電圧を生む構造。より広い周波数帯域の音を確保できるため、高級オーディオに採用されるケースが多い。その一方で出力が小さいため、昇圧トランスまたはヘッドアンプと呼ばれる機器が必要となる。また針が折れてしまった場合は、メーカーでカートリッジごと交換が必要になる。



MM (Moving Magnet) 型

MCとは逆に、コイルを固定させて、振動させるカンチレバーの根元にマグネットを配置することで出力電圧を生じさせる構造。MC型と比較して周波数帯域は狭いが、出力が高くアンプに搭載されるフォノ入力にそのまま接続できるメリットがある。針交換が自分でできるのもポイントだ。

正しい「トレース」に必要なアーム精度

「トーンアーム」は、カートリッジのバランスを保ち、適切な針圧でレコードの音溝から音を「トレース」する装置のこと。長さや形状によって特徴が異なるが、一般的なものはアームの端に重りをつけることで、水平・垂直のバランスをとる。また、アームの精度で音も変わるが、形状にも注目してほしい。ヘッドシェルの取り外しができるモデルが多い「S字型」や、逆にシェルとアームが一体化されていることが多い「ストレート型」などがある。



ストレート型タイプ



S字型タイプ

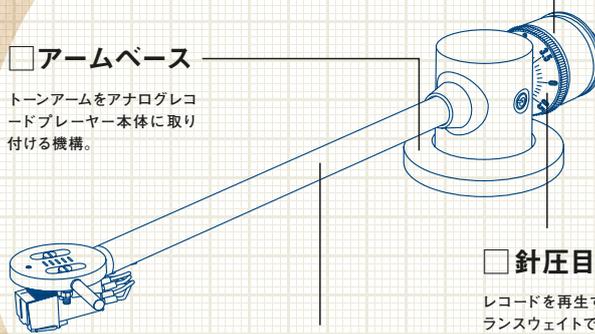
アーム

バランスウェイト

レコード針が音溝に一定の圧力（針圧）をかけるために、アームの端に取り付ける重りのこと。

アームベース

トーンアームをアナログレコードプレーヤー本体に取り付ける機構。



針圧目盛

レコードを再生する場合、バランスウェイトで針圧を調整するが、その基準となる目盛。

トーンアーム

針先をレコード盤の正しい位置にセットし、正しい針圧が掛かるようにバランスを取る役割を持つ。アームの素材や形状、長さなど構造により様々な種類がある。

Setting

「セッティング」

オールインワンモデルを買えば必要ないが、自分で調整できるようになると、カスタマイズもできる。ここではターンテーブルの調整ポイントを解説しよう。

文 / 編集部

の基本を知ろう!

ターンテーブルの設置場所



インシュレーターが動いたら、ここで水平を調整!

平らな場所にまず置こう

レコード再生は非常に小さな針で、レコード表面の音溝から音の情報をピックアップする。そのためターンテーブルが傾いていると、針が溝を捉えることができず、正しく音を再生できない。そうしたトラブルを未然に防ぐためにターンテーブルはできるだけ水平に保たれた安定した場所に置いてほしい。もし少しガタガタするようなら、インシュレーターが可動するタイプなら動かして調整してほしい。その際、水準器を使うと正確に行えるので試してほしい。スマホアプリで水準器を検索すれば、無料アプリも多くあるのでこちらを試すのもいいだろう。

振動が多い場所に設置するのもできれば避けてほしい。テーブルやラックの振動がターンテーブルに伝わり、針飛びの原因にもなるからだ。カートリッジは針圧が軽いと大きな音が出ただけで飛んでしまうことがあるくらい繊細で、振動はレコード再生において大敵と覚えておこう。また、見逃しがちなのがスピーカーを近くに置いてしまうこと。スピーカーは振動波である音を発するので、筐体が細かく震えてしまう。その振動が設置台を伝わって、ターンテーブルに悪影響を及ぼす可能性があるのだ。

音の要、カートリッジの取り付け方



ネジを回すだけで簡単に外れる

ここが外れて交換できる



リード線



針先の位置で音が変わる

取り付けはネジを回すだけ

基本はヘッドシェルとネジで固定されているだけなので、交換は誰でも迷わず行える。その際、カートリッジがまっすぐになるように取り付けよう。また作業時は針を保護するために、カバーは必ずしてほしい。

リード線は丁寧に扱おう

ヘッドシェルとカートリッジはリード線と呼ばれる赤、青、白、緑といった線で接続する。左右の音声信号とアースであり、それぞれカートリッジの適切な場所に接続する必要がある。取り付けはラジオペンチなどで行おう。

針先の位置調整は大事

カートリッジの交換作業をする際は、ヘッドシェルの根元から針までの距離をメモし、同じ場所に針の位置がくるように調節しよう。カートリッジが付属しないターンテーブルなら取扱説明書を必ずチェックしてほしい。

バランスウェイトの役割



①アームを水平に保つ

針の圧力が弱すぎると音溝から音がトレースできず、圧力が強すぎると針を破損してしまったり、盤面を傷つけてしまったりしてしまふ。そのため、最初にトーンアームにカートリッジを付けた状態で水平に保たれているかチェックする必要がある。これを「ゼロバランス調整」といい、バランスウェイトを回して横から見てアームが浮いた状態をキープできる位置を探るのだ。水平バランスが取れたら、針圧メモリを0に合わせておこう。

②針圧の調整

針がレコードを抑える圧力のことを「針圧」と呼び、シュア社の名機「M44G」なら0.75～1.5gまでといったように、カートリッジにより推奨数値の幅が決まっている。適正針圧を確認したら、ゼロバランスを取った状態で、バランスウェイトを使って適正針圧値を調整しよう。初めからカートリッジが付属するモデルならシビアな針圧調整は必要ないが、正しくレコードをトレースして最良の音質を引き出すなら針圧計を利用して調整してほしい。



CHECK

針圧とは？

カートリッジがどのくらいの圧力でレコードと接触しているか示している数値が「針圧」である。針圧を軽く設定すれば針がかかる圧力が下がり、逆に4gなど重めの針圧になると圧力が強くなる。針圧が重くなるほど、レコードへの負担は大きくなるが、一般的なカートリッジの適正範囲で使用している分には、レコードが割れるといったことはない。

針圧が軽いと…

- 高音の抜けがよくなる
- 軽すぎると針飛びしやすくなる

針圧が重いと…

- 安定感が増し低音も出る
- 重すぎると高音が潰れてレンジが狭くなる

その他の調整



ターンテーブルにより調整項目は異なる

基本的な調整が終わった後にも、もう少し調整項目が残っている。特に回転中心に向かって針に力が加かってしまう現象を打ち消す「インサイドフォースキャンセラー」や「アンチスケーティング」と呼ばれる調整が必要となる。ただテクニクスのSL-1200Gの場合なら、針圧の数値に写真の目盛りを揃えるだけと簡単。一部のハイエンドモデルにはアームの高さを調整できる機能も搭載され、さらなる高音質を追求できる。

アースを取る



アースしないとノイズが出る

レコードは針先で振動を拾い、微弱な電気に変換するため、フォノコライザーアンプに信号を送るケーブルにもシールド性能が高かったり、アース線をつけたりする必要がある。特にアースしないと「ブーン」といったハムノイズが発生してしまい、音楽を聴くどころではなくなってしまふ。ターンテーブルの中にはフォノコライザーを内蔵するモデルもあるので、心配な方はこうしたモデルを選んでほしい。

Column

オールインワンモデルや全自動のターンテーブルもある

本項で紹介してきたセッティングの項目は、すべての設定が終わっているオールインワンモデルなどを選べば必要にならないことだ。全自動モデルなら、レコードを再生する際の針を落とす動作ですら機械が行ってくれる。難しいことはなしに、手軽に楽しみたい！という方ならこちらからスタートの方がいいだろう。パーツ交換してグレードアップしたいと思ってからセッティングについて学んでも決して遅くはない。例えばオーディオテクニカの「AT-LP3」などは、初心者にお薦めできるフルオート再生のターンテーブルだ。一方で、レコードの盤面を見て、針を落とす行為も音楽と向き合う儀式のような楽しみがあるのでぜひトライしていただきたい。

AUDIO-TECHNICA AT-LP3

¥OPEN ▶投票 No.103



自分で針を落とす行為も楽しい！



いま買うべき、才色兼備の逸品 厳選レコードプレーヤー

「いい音」を追求するなら、
こだわるべきはプレーヤー。
デザインにもこだわって
推薦モデルを厳選しました。
文／編集部



Rega 

Planar 1 Plus

¥55,000 (税抜) ▶投票 No.104

欧州を代表するエントリー機

1973年に創立された、英国生まれのオーディオブランド「Rega」社。そのノウハウを注ぎ込んだ、フォノイコライザー内蔵の入門者向けレコードプレーヤー。MM型カートリッジも付属する。伝統的なベルトドライブ方式で、カスタム仕様のプラッターや高精度ベアリングなど、高音質のための独自ノウハウが満載。カラーは写真のホワイトのほか、ブラックも用意。光沢感のあるボディが美しく、インテリアにも映える。

CHECK

Made in Englandの矜持

トーンアーム「RB110」は新開発。35年の歴史を持つアーム開発のノウハウと3D CAD&CAMテクノロジーの融合により、アームの構造やハウジング形状を新設計。エントリーモデルながら、クラスを越えた高音質を妥協なく追求している。



SPEC ●外形寸法:447W×117H×360Dmm (ダストカバー付、閉口時) ●質量:4.35kg
●お問い合わせ: 実電電気 ☎050-3388-6838



Technics 

SL-1200G

¥330,000 (税抜) ▶投票 No.105

世界が愛するスタンダード

オーディオファンはもちろん、DJ世代からも絶大な支持を集める名機、テクニクス「SL-1200」シリーズ。その血脈を継ぐ、最新スタンダードモデルが本機だ。その代名詞とも呼べるダイレクトドライブ方式を磨きあげた逸品で、安定した回転を実現すべく、新開発コアレス・ダイレクト・ドライブモーターや3層構造の重量級プラッターを採用するなど、細部にまでこだわり抜いた、音楽ファンのためのプレーヤー。

CHECK

究極のフラグシップ

正確で滑らかな回転を実現するターンテーブル「SP-10R」と、強靱なシャーン&熟練工による高感度トーンアームを組み合わせたターンテーブルシステム「SL-1000R」。究極のアナログサウンドを求めるなら、その答えがここにある。受注生産。



SPEC ●外形寸法:453W×173H×372Dmm ●質量:約18.0kg
●お問い合わせ: DIGA・オーディオご相談窓口 w☎0120-878-982

AUDIO-TECHNICA 

AT-LP7

¥OPEN ▶投票 No.106

SPEC
 ●外形寸法：450W×157H×352Dmm ●質量：8.3kg
 ●お問い合わせ：オーディオテクニカ ☎0120-773-417

Hi-Fiサウンドが約束されている

接合精円針VMカートリッジ「VM520EB」とアルミニウム製ヘッドシェル「AT-HS10」、さらに高品質なフォノイコライザーを標準装備したHi-Fiプレーヤーだ。1960～70年代の設計を継承したオーディオテクニカ独自のJ字型ユニバーサルトーンアームを採用。高さ調整機能も搭載するので、様々なカートリッジに交換することも可能だ。

Denon 

DP-450USB

¥70,000 (税抜) ▶投票 No.107

SPEC
 ●外形寸法：414W×132H×347Dmm (ダストカバー取付時)
 ●質量：5.6kg
 ●お問い合わせ：ディーアンドエムホールディングス
 ☎0570-666-112

デノン約10年ぶりの新作

S字型のトーンアームを新開発するなど、高音質を追求しながら、オートリフトアップ&ストップ機能、埃除けのダストカバー（レコードジャケットのスタンドになる！）など、使い勝手にもこだわったデノンとして約10年ぶりとなる新作。フォノイコライザーを内蔵するほか、レコードの音源をUSBメモリーへ直接、高音質で録音できる。

MoFi Electronics 

Studio Deck

¥150,000 (税抜) ▶投票 No.108

SPEC
 ●外形寸法：500W×95H×365Dmm ●質量：8.7kg
 ●お問い合わせ：オーラデザインジャパン ☎03-5743-6250

高音質レーベルの理想を体現

マスターテープから高音質リマスターした作品をリリースして注目を集めるリイシュー・レーベル「Mobile Fidelity」。同社のハードウェア事業として立ち上がったメーカーのオリジナルプレーヤーだ。開発にはハイエンドプレーヤーの開発者の知見が加わり、独創的なアイソレーション・フットを採用するなど高品位再生を約束してくれる。

YAMAHA MusicCast
VINYL 500

¥90,000 (税抜) ▶投票 No.109

SPEC
 ●外形寸法：450W×136H×368Dmm ●質量：5.7kg
 ●お問い合わせ：ヤマハミュージックジャパン
 ☎0570-011-808

ネットワークに接続できる！

ホームネットワークに接続すれば、レコードの音をワイヤレスで飛ばせる「MusicCast®」機能を搭載。Spotifyやradikoだって再生できる。安定した回転が得られる独自のベルトドライブ方式、剛性の高いストレート型トーンアームを採用。デジタルとアナログの垣根を越えて楽しめる、全く新しいプレーヤーだ。





From
DENMARK



100周年記念モデルが登場！ ortofonのカートリッジ

アナログブランドの雄「オルトフォン」が、世界中のオーディオファンに愛されて100年。その歴史に刻まれた名機の中から、「CONCORDE」の100周年記念モデルが登場した。彼らのブランドの歩みと一緒に、カートリッジの代表モデルをご紹介します。

文 / 編集部

伝統と革新のブランド「オルトフォン」 50を超えるカートリッジを見逃すな

北欧デンマークに本社を構えるアナログブランド「オルトフォン」は、1918年に創業して今年で100周年を迎えた。その歩みは伝統を重んじつつ革新を繰り返してきた歴史である。カートリッジ開発は昔も今も最先端を走り続け、1948年には世界初のモノラルMCを開発。1979年には、現在のDJシーンにおける定番カートリッジの原器「CONCORDE 30」を誕生させた。ヘッドシェルとボディを一体化したことで軽量化をはかりつつ、トレースの安定性を確保したCONCORDEの機能美は当時のデンマーク工業デザイン賞を受賞するほどに絶賛された。このデザインは現行製品でも採用され、定番カートリッジとしての立ち位置を不動のものとしている。オルトフォンのカートリッジは、そうした歴史の中で改良を重ね、世界でも類をみない50モデルを超えるラインアップを持つまでに成長している。いま、アナログを楽しむならオルトフォンは外せないブランドだ。

ortofon

THE CONCORDE CENTURY

¥76,000 (税抜)

投票 No.110

SPEC ● 型式: MM型 ● 出力電圧: 5.5mV ● チャンネルセパレーション: 15dB (15kHz) ● 再生周波数帯域 (-3dB時): 20~29,000Hz ● スタイル: Nude Fine Line (無垢ダイヤ) ● 適性針圧: 1.8g ● 自重: 18.5g



Hi-Fi用として蘇る 世界限定 1000個の記念モデル

DJシーンに金字塔を打ち立てた名機「CONCORDE」が、創立100周年に際して、再びHi-Fi用カートリッジとして復活。アニバーサリーモデルらしく、クローム仕上げの美しいハウジング、無垢ダイヤ素材のファインライン・スタイラスを採用。オルトフォンが得意とするMMのコイルには銀メッキ銅線を使い、CONCORDEが本来得意としていた空間表現、緻密な音を実現した。

代表的な

DJ カートリッジ


CONCORDE CLUB

¥OPEN ▶投票 No.111

SPEC ●型式:MM型 ●出力電圧:
8mV ●チャンネルセパレーション:
25dB(@1kHz) ●再生周波数帯域
(-3dB時):20~20,000Hz ●スタ
イラス:Special Elliptical(特別な楕
円針) ●適性針圧:3g ●自重:18.5g



最新のクラブサウンド

これまでのクラブサウンドの定番「CONCORDE NIGHT CLUB MKII」からエッセンスを引き継ぎ新定番モデル。特別な楕円針を採用し、レコードの溝との接触面積を増やし、より複雑な音までピックアップできるように設計されている。その高い精度は音質に与える影響も大きく、高音質で残したいレコードのデジタル化にも役立つ。

代表的な

Hi-Fi カートリッジ


2M Red

¥13,000 (税抜)

▶投票 No.116

SPEC ●型式:MM型 ●出力電
圧:5.5mV ●再生周波数
帯域:20~22,000Hz ●スタ
イラス:Elliptical(ダイヤモンド/楕
円針) ●適性針圧:1.8g
●自重:7.2g



独自磁気回路を持つ MM型

円柱状のマグネットをカンチレバーの直線状に配置。左右均一に配置された「pole pin」と絶妙な距離間で固定したことで、スタイラスチップでピックアップした情報を忠実に音声信号に変換する独自磁気回路を「2Mシリーズ」は搭載している。本機はそのエントリー機で、接合式楕円針を採用している。


CONCORDE MIX

¥OPEN

▶投票 No.112

SPEC ●型式:MM型 ●出力電圧:
6mV ●チャンネルセパレーション:
20dB(@1kHz) ●再生周波数帯域
(-3dB時):20~20,000Hz ●スタ
イラス:Spherical(円錐針) ●適性針
圧:3g ●自重:18.5g



エントリーにして万能

DJプレイに耐える高品位な円錐形の針先と堅牢なカンチレバーを備えるエントリーモデル。十分な出力と高音質を兼ね備え、音楽ジャンルを選ばないサウンドを実現。いま人気を集めるカートリッジだ。


CONCORDE SCRATCH

¥OPEN

▶投票 No.114

SPEC ●型式:MM型 ●出力電圧:
10mV ●チャンネルセパレーシ
ョン:22dB(@1kHz) ●再生周波数
帯域(-3dB時):20~18,000Hz
●スタイラス:Spherical(円錐針)
●適性針圧:4g ●自重:18.5g



スクラッチの新定番

名は体を表す。スクラッチとバックキューイングを極めるためのカートリッジ。10mVという非常に高い出力のおかげで、再生が難しい低音までしっかり使ったスクラッチができる。


CONCORDE DJ

¥OPEN

▶投票 No.113

SPEC ●型式:MM型 ●出力電圧:
6mV ●チャンネルセパレーション:
22dB(@1kHz) ●再生周波数帯域
(-3dB時):20~20,000Hz ●スタ
イラス:Spherical(円錐針) ●適性針
圧:4g ●自重:18.5g



DJを支える堅牢ボディ

スクラッチやバックキューイングといったDJ操作に強い設計が特長。それでいてレコードに優して、低い摩擦性能も備えており、レコードに優しい仕様なのもターンテーブルリストには嬉しい。


CONCORDE DIGITAL

¥OPEN

▶投票 No.115

SPEC ●型式:MM型 ●出力電圧:
10mV ●チャンネルセパレーシ
ョン:22dB(@1kHz) ●再生周波数
帯域(-3dB時):20~18,000Hz
●スタイラス:Spherical(円錐針) ●適性針
圧:4g ●自重:18.5g



コードヴァイナルに最適

タイムコードヴァイナルのよさを引き出す新時代のカートリッジ。出力電圧を最適化し、音楽信号のS/N比をソフトウェアに最大限にして伝えることで、タイムコード信号によるよりよい演奏を実現する。


SPU#1S

¥58,000 (税抜)

▶投票 No.117

SPEC ●型式:MC型 ●出力電
圧:0.18mV ●再生周波数帯
域(±3dB):20~20,000Hz
●スタイラス:Spherical(ダイ
ヤモンド/円錐針) ●適性針
圧:4.0g ●自重:30g



MCの名機の音をそのままに

60年前に誕生したステレオMCカートリッジ「SPU」の基本設計をそのままに復活させた「SPU#1」。レコードの音溝から正確かつ高効率に情報をピックアップする構造、ワイヤー・サスペンションで支えるシンプルな支持構造など、後のMCカートリッジの設計に大きな影響を与えた伝説的モデルのサウンドを楽しめる。


MC-Q5

¥30,000 (税抜)

▶投票 No.118

SPEC ●型式:MC型 ●出力電
圧:0.5mV ●再生周波数帯
域:20~25,000Hz ●スタ
イラス:Elliptical(ダイヤモンド/
楕円針) ●適性針圧:2.3g
●自重:9g



アナログらしさを味わえる

オルトフォンのMCカートリッジの代表的なモデル「MC Qシリーズ」。MC-Q5は、アルミカンチレバーと楕円針という同社の王道的な設計アプローチが採用。エントリークラスの価格帯ながら、アナログサウンド独特のエネルギー感溢れるサウンドを再生できるようにチューニングされている。

厳選アクセサリ ACCESSORY PICK UP

レコードから高音質を引き出すために役立つ、
カートリッジやクリーナーなどのアクセサリを厳選!
より豊かなオーディオライフのお供にオススメです。

文/編集部

MM型カートリッジ

Rega Bias 2

¥14,000 (税抜)

▶投票 No.120

SPEC ●型式:MM型 ●針圧:1.75g



熟練工によるハンドメイド

英国Regaの新作MMカートリッジ。音楽信号の持つエネルギー感のロス、特に高域の不足感を抑えるため、針先を着脱式としない一体成型とし、マグネットとポールピースの間の距離を最大0.25mmまで詰めたという。まさに熟練工によるハンドメイドならではの巧技。

問 実電電気 ☎050-3388-6838

VM型カートリッジ

AUDIO-TECHNICA AT-XP7

¥OPEN

▶投票 No.119

SPEC ●型式:VM型 ●針圧:2.0~4.0g
(3.0g標準)



グルーヴィーなDJプレイ用

オーディオテクニカが培ってきたHi-Fiオーディオの技術を活かして開発したVM型カートリッジ。DJ用に開発されたカンチレバーや6.0mWの高出力設計、さらに「ステンレスサスペンションワイヤー」を新開発し、DJプレイに耐える強靭さと広帯域&クリアなサウンドを実現した。

問 オーディオテクニカ ☎0120-773-417

スタイラスクリーナー

AUDIO-TECHNICA AT617a

¥OPEN

▶投票 No.121

SPEC ●素材:ポリウレタンゲル



針先をキレイにしてくれる!

大切なカートリッジを長持ちさせるために、しっかり針先をクリーニングしてあげたいもの。そんな時にオススメしたいのがこちら。針先をポリウレタンゲルの粘着面に軽く数回あてて、ホコリを取り除く仕組みだ。安心の日本製で粘性は約5年持続するという。

問 オーディオテクニカ ☎0120-773-417

レコード用クリーニングスプレー

NAGAOKA SP-601(601 CLEAN UP RECORD SPRAY)

¥2,000 (税抜)

▶投票 No.122

SPEC ●内容量:220ml ●アルコール類(防カビ成分配合):19ml

レコード盤クリーニングの新定番

オーディオファンから絶大な支持を集めるNAGAOKAの伝説のクリーニングスプレー「Cleartone558」と同様に当時から支持をされていた「CLEAN UP」が約30年ぶりに復活! 速乾性に優れ、今回アフタースプレーとしても効果的な防カビ成分を配合する。使い方はいたってシンプル。レコード盤より30cm程度離し、2~3秒全体にムラなく噴射した後、乾式のレコードクリーナー(NAGAOKA製CL-118)で磨いてあげればOK。聴き終わった後にクリーニングする場合は、レコード盤が乾燥したことを確認して、ジャケット等に収納しよう。あくまでもレコード盤専用なので、ポリ塩化ビニル製以外のディスク(CDなどの光学式ディスクやSP盤、アセテート盤など)には使用できないのでご注意ください。クリーニングと同時に、静電気の発生を抑えてくれるほか、レコード盤の耐摩耗性も向上するという。大切なレコードをいつまでも「いい音」で保存しておきたい。そんな音楽ファンに必備のアクセサリといえるだろう。

問 ナガオカレーディング ☎03-3479-8181

